



Keyword

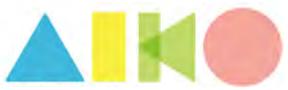
保育  
世代間交流  
自然保育

Vision

梓にとらわれない  
新しい保育のカタチに  
チャレンジ中！



**保育**  
子どもたちや親の「笑顔」を育てるために、心を込めて質の高い保育を提供します



社会福祉法人  
**愛耕福祉会**

「子育てするなら雲南市」というスローガンのもと、乳幼児期の子どもの心身の健やかな育ちを保障するため、平成20年に創業（NPO法人明育会として事業開始）。理事長のご子息である本部長の白根さんは、高校卒業後、約30年ほど大阪で働いていたが、保育事業を継ぐべく2年前にUターン。保育業界に入ってまだ2年目だ。大阪時代は大手メーカーで営業をしていた。その時の経験から「理念のないところには成功はない」という信念をもち、従来の保育とは違った視点から園の経営を考え「創造的に働くことが大切」と語る。「お子様を安全に預かることはもちろん、子供が就学するまでにどれだけの体験をさせるか、その専門職だと思っています。地域の方や学生さんと取り組む世代間交流が多いことも園の特徴。笹巻き体験や、地元野菜で作った給食を提供するなど自然に恵まれた保育環境を生かして、個性豊かで、工夫された保育を目指しています」。

また保育士である前に一社会人としての振る舞いが大事だという。「人間として何が正しいか」。専門的な研修はもちろん、哲学とか道徳などの研修も法人として積極的に取り入れていきたい」と話す。

「昨年は事業開始以来、初めて大卒職員を迎えることができました。法人として成長していくためには若い方の力を

受け、育成していくことが欠かせません。私たち職員も、新人を育てるという経験ができ、保育士としても人としても成長できる良い機会になります」。

保育士の社外活動にも理解がある。実施する幸雲南塾<sup>※1</sup>に参加し「自然保育」のプランを発表し実践している保育士に対しても、「彼の夢を応援しているし、活動を通して保育のプロという自覚が強くなり、他の保育士など周りの動きも考えて行動できるようになった」その成長を認めて、主担任を任せたといい。

そんな白根事務長からは面白いアイデアが溢れてくる。2018年の4月からは「みなみかも保育園」を新設。園庭を広くするほか、「プログラミング教室」や「マルシェ」など地域を巻き込んだ講演会やイベントや、ソフトの拡充に応える施設を整備した。「従来の形にとらわれず地域の声に耳を傾け、ニーズのあるところに向いていける保育園を目指していきたいですね。例えば、地域の高齢者×育児や企業内保育など、「こんな保育システムあったらいいな」を実現したいです。」白根事務長の夢は膨らむ。



本部長 白根 康久

社会福祉法人 愛耕福祉会



代表者 理事長 白根 康久  
創 業 平成27年3月10日  
従業員数 76名

- 事業内容
- ・みなみかも保育園
  - ・雲南市立かもめ保育園
  - ・雲南市立大東保育園
  - ・だいたい病児・病後児保育室「つくし」
  - ・雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）

所在地 〒699-1104  
雲南市加茂町南加茂41-3  
電話番号 0854-47-7037  
<http://www.aikoufushikai.org/>

※1…幸雲南塾は、島根県雲南市で、地域の未来を切り拓いていく人材を育成する雲南市独自のプログラム

# 若手社員 インタビュー



気軽に相談できる  
同期が身近にいることの  
ありがたいもの



保育士  
**田部 夏子**  
2017年入社/  
鳥取短期大学卒業  
雲南市出身



保育士  
**宮崎 真佑**  
2017年入社/  
鳥取短期大学卒業  
雲南市出身

## 自然や地域の人との触れ合いを通じ、子どもの成長を日々実感

一同に雲南市出身で鳥取県の短大を卒業後、Uターン。新卒入社でのフレッシュな二人に話を聞いてみた。  
**田部:**私はこの園の卒園生です。当時好きな先生が園にいました。その先生への憧れから、小学校くらいにはすでに保育士になろうと決めていました。  
**宮崎:**小学校の時、児童クラブに通っていました。そこで4、5歳くらいの子と遊ぶ機会があり、お世話をするうちに保育士に興味をもちました。

一 県外の大学で保育を学んでいた二人。「在学中から地元の保育園で働きたいと思っていた」と口を揃える。  
**田部:**中学や高校の時にこの園にボランティアで毎年来ていました。ここで働きたい!という気持ちをずっともっていました。  
**宮崎:**私は就活中に見学して、雰囲気が良かったので入職を希望しました。実際保育のことなど何でも相談しやすく、若手である私たちが提案した意見も採用される風土があります。

一 二人はそれぞれ年齢の異なるクラスの副担任として活躍している。  
**田部:**“自分が一番”という自我が強く、活発に遊びは始める一歳児のクラスを担当しています。遊びの内容を私が主体になって考えることもあります。子どもたち

がどうやったら楽しく遊べるか、「まだ遊びたい!」と嫌がる子どもに、どう声掛けをして給食に移らせるかなど、試行錯誤を繰り返しながら次に繋げています。子どもたちの言葉や行動に私自身がたくさん共感して、子どもたちとの関係づくりを大切にしています。最近、子どもたちが名前を呼んでくれるようになったのは嬉しかったですね。

**宮崎:**私は三歳児クラスを担当しています。園の周りは赤川、丸子山、阿用川など大自然がすぐそこ。いつでも遊びに行ける恵まれた環境にあります。ちなみに園の近くに柿の木があるのですが、昨年の秋は、子どもたちと散歩に行って、柿をとって食べたりもしました。なかなか他では経験できないんじゃないかな。

地域の方とも距離が近く、餅つきや笹巻き体験など、いろいろな行事を一緒にすることができます。地域の人に見守れながら自然の中で過ごすことで、子どもたちがたくましく成長しているなど、日々実感しています。



### 桜並木のトンネル

家のすぐ近くにあるので、よくこの道で早朝にランニングや散歩をしたりして、気持ちをリフレッシュしています。



### 願い橋

お願いを事をして目を閉じて渡りきると願いが叶うと言われていました。川の流れる音を感じながら渡ることができるのでとても穏やかな気持ちになりますよ。

## Q&A 一問一答

### Q 園の行事ではどのようなことを行っていますか?



笹巻き行事や、芋掘り体験、かめめ保育園でいうと「グランマ」さんという高齢者の方が歌を披露して、園児が楽しんだり。クリスマス会では雲南市在住の国際交流員さんがサンタクロースとして園児と交流してくださっています。

### Q 民営の保育園である強みは?



「フットワークが良いところですね。例えば、保護者の方から色々なご意見、ご要望をダイレクトに頂戴しますので、保育園の運営に役立てることは多々あります。保護者や地域の声を真摯に聞き、新たな事業ニーズの開拓も考えながら園の運営を行っています。

こんな人と一緒に働きたい!

- ・ 人生を大切にし、向上心がある
- ・ とにかく、こどもが大好き

まずは、「何のために働くのか」を自分で考えることのできる人。常に反省や素直さ、そして創意工夫を念頭においてほしいと思います。保育の専門職である前に、一社会人として恥ずかしくない責任感や謙虚さを持って働ける人を期待しています。



Keyword

ゴルフ

礼儀・マナー

イベント企画

Vision

地域のランドマークとして  
 地元が誇れる、  
 ゴルフ場をめざす



雲南市唯一の  
 ゴルフ場

中国山地の造形を  
 そのまま活かした  
 コースレイアウトが  
 自慢です



## クラシック島根カントリークラブ

支配人の郷原千代吉さんは、雲南市の隣にある出雲市の出身。兵庫県で営業マンとして働いていたが、いつかふるさとに帰りたいという念願をかなえて2010年、Uターンと同時にクラシック島根カントリークラブで働き始めた。

1995年、旧掛合町の第三セクターとしてオープンした同クラブ。冬は積雪で長期間クローズせざるを得ないなどの立地環境は厳しく、2005年には民事再生法を申請。その後もオーナーがたびたび変わる不安定な時期が続いた。

郷原さんが着任したのはそんな、ある意味“どん底”のころ。「行かなくてもいいゴルフ場というか、松江や出雲などの都市部から認知されていなかった」と振り返る。ここから郷原さんの巻き返しが始まる。

ゴルフにお金をかけられる富裕層に着目し、重点的に営業。企業のトップや各支店を回るなど足を使った。さらに、地元の特産品である仁多米を賞金にした奥出雲全米オープン開催、レストランで奥出雲和牛メニューの提供など地域密着を打ち出して話題を呼び、報道される機会が増えた。お客様の声を聞いてこまめに改善するなどの地道な努力も重ねた結果、利用者数は以前より大幅に増え、経営も安定してきた。地元在住者を中心に28人が働いている。

「ゴルフは飲み屋と一緒に「平和産業」。働く人が定着して安心して働いているとお客さんも安心してゴルフを楽しんで遊んでくれるようになる」

現在は日本アライアンス(本社・東京)が所有し、ゴルフレボリューション(同)が運営している。ゴルフレボリューションは「地方からゴルフ場をなくしてはいけない」と出雲市の島根ゴルフ倶楽部など全国3カ所を運営中で、インドアでのゴルフインストラクターの育成も手掛ける業界で異色の存在だ。

郷原さん自身、雲南市にゴルフ場があることの意義を感じるという。「ゴルフ場って地域のランドマーク的存在。雇用も生まれ、仕入れなどで地域経済にも役立つ。若い人が流出する中で、うちがあるなら出なくてもいいかな、となったりして地域振興につながったらいいなと思います」



郷原 千代吉 支配人

株式会社ゴルフレボリューション  
 クラシック島根カントリークラブ



代表者 代表取締役 石川卓  
 支配人 郷原千代吉  
 創業 平成7年10月10日  
 従業員数 30名

事業内容 ゴルフ場  
 募集 1. フロント  
 スタッフ 2. レストランホール、厨房  
 3. コース管理  
 4. 営業

所在地 〒690-2706  
 雲南市掛合町多根3325-3

電話番号 0854-62-1561

<http://www.classic-shimane.co.jp>



副支配人  
**辛島 範彦**  
2011年入社/  
大阪府堺市出身

## お客さんに楽しんでもらうため「気持ちひとつでも工夫を」

出身は大阪府堺市の辛島さん。移住と転職の決め手はなんだったのだろう。「田舎暮らしがしたい、と言う両親が、約10年かけて決めたのが島根県でした。検討していたのは、近畿圏から遠くて岡山までと言っていたのに、両親がたまたま旅行した際に島根の景観や整備の行き届いた道路を気に入り、移住の決め手となりました。当初は奥出雲町に暮らし、雲南市に引っ越した後、ふるさと島根定住財団の移住者向け求人情報でたまたまこの仕事の募集が出ているのを見つけました。実は自分も父親もゴルフが好きで、このゴルフ場へは奥出雲町に住んでる時に一番近いから通ってたんです。働いてみると、客の立場からは知らなかったことを知れるのが楽しいです」

辛島さんの主な仕事はマスター室業務。「お客さんのプレーを円滑に回す部署」だと静かに胸を張る。「まずお客さんが来た時に玄関先でバッグを預かって、会話を交わすことから始まり、預かった荷物をカートに積んで、スタート順に並べて準備をします。それだけでなく、お客様の細かいクレームも感謝の言葉もすべて回ってくるので、その対応に僕が指示を出すこともします。例えばコース内の忘れ物ならキャディーさんにコースを回ってくださいようお願いしたり。日々違うお客さんと接する仕事なので、こっちに来た時知り合いが誰もいなかったのが、今や来ると声をかけてくれるお客さんが年々増えているのが楽しいです」

表情からは、チームで働く楽しさが伝わってくる。「どの部署だからではな

く、みんなでお客さんに対して気持ち良く帰ってもらうという気持ちがあれば、お客さんもまた来てくれると思っています。自分も声かけ一つでも相手や状況に応じて工夫していますし、コース管理の人ならお客さんが気持ち良く回れるために整備をするし、レストランなら美味しい料理を出すという、今いるスタッフの皆さんはみんなそんな気持ちでやってくれています。従業員も楽しくなかったら、お客さんに楽しんでもらうのも難しいと思っていて、そこはうちの支配人も、いい兄貴分みたいな感じで、従業員の雰囲気を作ってくれてると思います」



## Q&A 一問一答

### Q ゴルフって堅苦しいイメージもしますが…



そんなことはないですよ。以前よりカジュアルになり、時代に応じて変わってきたなと感じます。女性も増えてきましたし、夫婦や親子など少人数でも利用してもらえるサービスも導入しています。

### Q 勤務環境はどんな感じですか？



冬は2ヶ月以上クローズするので、かなり変則的です。ですので、夏は週1の休みですが、1月は半分以上休み。余暇を楽しむことができます。普段も日没後の仕事はないので残業もほとんどなく、健康的ですよ。

### Q ゴルフのどこが好きですか？



疲れることなく、程よい運動ができること。健康づくりにもなります。あと上達しないところ。だから飽きません。職場の仲間もゴルフ好きが多く、休みのたびにゴルフに行ってます。4人組がすぐ集まるのが最高です。

### Q 雲南の魅力は？



移住の決め手にもなった、赤瓦の家が、一軒一軒ゆったりと並ぶ田舎の風景です。また交通の利便も良く、松江や出雲に行くのも気分を選べるのがいいと思います。実は便利で、密かに「島根のへそ」と呼んでいます。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- 元気で腕白な人
- 第一次産業に興味がある人

元気で腕白な人がいいなと思いますが、あとは例えば農家の跡継ぎに来てほしいですね。農業や林業など第一次産業は若い人の希望が見いだせない。でもうちなら両立させて働くことができる。「ゴルフのできる百姓」って面白くないですか(笑)



Keyword

麵グルメ

商品開発

食

Vision

自然の恵みと  
技術を生かして  
”おいしい” 麵をつくる



しじみだし  
ラーメン

奥出雲の湧き水を使った  
自慢の特製ちぢれ麵。  
宍道湖産しじみだしの  
味噌スープ。

限りなき麵作りへの挑戦

## (株)出雲たかはし

創業70年、雲南の地で麵を作り続けてきた出雲たかはし。3代目社長の高橋大輔さんは24歳のとき、父親から突然、社長職を譲られた。それから13年、悩みもがきながら売上を伸ばし、年商約5億円になるまで成長させた。「当時55歳だった父親が急に飲み屋で『わしはやめる』と。強烈なバトンタッチでした。何もわからなくて。でも救われたのが、年上の工場長が『だいちゃん、わからんでしょ。何でも自分に聞いてごせ。支えるけん』と言ってくれたこと。泣きそうになって、何とかがんばろうと思いました。父親からも麵をやめてもいいがとにかく社員を路頭に迷わせたらだめと言われていました」

当時、進学した東京からUターンして3年余り。わからないなりに、気になることがあった。商品に「まずい」というクレームが届いていたことだ。電話や手紙でわざわざ「まずい」と言われると落ち込むが、一方でその商品が売れてもいた。悶々とする日々。通販を始めてみようとする前は現場の社員に聞いてみた。すると、買う商品と買わない商品がはっきり分かれた。「社員が一番わかっている。まずい麵をつくっていた。それなのに原価ばっかり見ている。やっぱり、おいしい麵をつくらう」。

加工技術には自信があったため、素材を研究した。小麦粉はもちろん、相性のいい水を求めて試作を繰り返し、そう遠くない場所で最高の水を見つけた。麵の透明感やぷりぷり感が

まったく違う。都会ではこんなに近くでこれほどの水を手に入れることは難しいだろう。雲南だからできることだ。

従来は他社のブランド製品をつくるOEMが多かったが、自社製品の開発に力を入れた。しじみだしラーメンや飛魚だしラーメン。いい素材を使い価格も高かったことから最初は苦戦したが、関東地方の高級スーパーや百貨店で扱われるようになった。ヒット商品の1つがインスタントにゅうめん。添加物なしで保存はきくという、常識を覆した「身体にいいインスタント麵」。高級料亭で引き合いがある。「簡単調理で使い勝手がよくて日持ちもして、もちろん安心安全、適正価格。安心安全は大事ですが、利便性も大事にしています」と高橋さん。

社内の空気も変わってきた。毎年の経営方針発表会。高橋さんが考えてきたビジョンを次は社員がチームを組んで決めることになった。5年後には新工場も建設予定だ。「地域にある自然の恵みを使い、うちも地域の中にある。最終的には社員はもちろん、地域の人たちが息子や友だちに入ってほしいというような会社になりたいですね」



高橋大輔 代表取締役

株式会社 出雲たかはし



代表者 代表取締役 高橋大輔  
創 業 昭和24年7月1日  
設 立 昭和43年8月1日  
従業員数 30名(内パート8名)  
事業内容 ・製麵製造業  
そば、うどん、ラーメン  
そうめん、パスタ等  
・食肉販売業

所在地 〒699-1113 雲南市  
加茂町東谷371-1

電話番号 0120-11-6509

<http://izumo-takahashi.com>

## 若手社員 インタビュー



### 田部 梨央

2014年入社/雲南市出身  
島根県立大学短期大学部卒

## 毎日が同じじゃない。工夫しながら働く面白さ

雲南市木次町で生まれ育った田部梨央さん。就職先として希望していたのは、地元の会社だった。「高校時代、体調が良くなかった時期があったのですが、食べ物や運動など気を付けてよくなりました。このきっかけで食品や健康について勉強したい気持ちが高まり、進学先も栄養学科にしました。やっぱり地元が良かった。家族や友人がいて安心するし、家から通えるのがいいです。県外でも企業の説明会も行きましたが、ここには住めないなど。地元のようにゆったりしているところがいいとあらためて感じました。地元の食品会社の求人票を見つけたときはうれしくて。社長が参加しているイベントに行って履歴書を渡し、その後、面接を受けて入社しました。」

入社したのは2014年4月。麺造りの最前線の現場で働いている。「ラーメンとそばの製造室などを経験して、昨年からはラーメン専用の機械がある第3製造部門の主任を務めています。朝8時に出勤し、制服に着替

えて製造開始です。粉や水などを合わせたものがミキサーから出てきますので、重さと厚さを調整して確認、麺の状態を箱詰めするまでの作業です。ずっと同じ場所というよりは、工場内を歩いて様子を見ています。お昼の休憩をはさんで、17時半には掃除して終わります」

学生時代より社会人になってからの方が楽しいと笑顔を見せる。「お客さんから直接感想を聞くことはないのですが、毎日、異常がないように、クレームがないようにとやっています。家族や商品をあげた人が“おいしかったよ”と言ってくれるのが一番うれしいです。

休日や仕事終わりに高校時代の先輩と、桜の時期じゃなくても土手を散歩したり、大東町のほたるを見に行ったりします。雲南にいるから昔からの友だちと遊べます。

毎日が同じじゃない。工夫しながらやる面白さもありますし、安定したものがつくれるように、いまやっていることをこれからもやり続けたいです。」

## とっておき！ うんなん暮らし



### 桜土手を散歩

桜の時期じゃなくても土手を散歩したり、星見れば一っしたりします。



### 清嵐荘の温泉

温泉でリフレッシュするのが大好きです。今は建替え工事のためお休み。再開が待ち遠しいです。

## Q&A 一問一答



### おすすめの麺は？



麺は好きです！300種類くらいある自社商品は全部食べました。一番お気に入り、冷やし中華麺ですね。他社のもよく食べますし、麺を食べない日はないですね。食べすぎて、20キロ太りました(笑)



### Uターンのきっかけは何ですか？



全然違うところに行きたいと東京に出て、クラブDJをしていました。ちょうどへこんでいたときにJR山の手線のつり広告が全部島根県だったことがあり、ちょっと帰ってみようかなという軽い気持ちだったんですよ。



### やめたいと思ったことはありませんか？



ミスしたときに先輩が「どうした？」って話しかけてくれて、話を聞いてもらって楽になりました。嫌なことがあっても、わかってくれる人がいるとがんばれます。上司や先輩に相談しやすい雰囲気です。



### 学生と社会人で違いがありますか？



学生のときよりいまの方が楽しいですね。もちろん、仕事は楽しいことばかりじゃないですが、オンとオフのメリハリがあり、自由な時間もある。自分で働いて稼いだお金があるからこそ休みも遊べます。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- ・ 食に興味がある人
- ・ コツコツと取り組める人

夢中になれるものや好きなものがある人、でしょうか。冬は忙しいですが、結構土日が休みで、有休もあります。休みの日にちょっとした目標を持つことで、一生懸命働いて時間内に仕事終えて、がんばろうーみたいなのがいいですね。



Keyword

家づくり

店舗・工場・その他

インテリアデザイン

Vision

”できないとは言わない”  
 目指すは夢を叶える家づくり



新築完成

オーダーメイドの  
家づくりでお客様の  
想いを実現します！



有限会社

建人  
KENTO

代表の神庭健治さん(60)は、雲南市大東町海潮地区で生まれ育った。父親の勧めもあって建築業界に進み、県内の工務店で経験を積んで1992年、カンバ建築設計として独立。2004年に設計から施行までを行う工務店として建人を設立した。一級建築士や施工管理技士がそろった少数精鋭部隊だ。「この土地が好きだし、ここから発信したい。それに個人店が一生懸命がんばっていた方が地域に活気が出る。地元の活気にもつながればいい」

地域の仕事を積極的に手掛けてきた。代表的なのは、全国で知られる地元の須我神社。2001年の遷宮の際には本殿の屋根を、その後も大鳥居の設計や随身門と授与所の設計と建築も担当した。大鳥居は免震設計で「最近では稀になった考え方だ」とベテランの石職人から驚かれたと振り返る。技術力を生かし、年間150~200件の新築、リフォームを請け負う。得意なのは、日本古来の家づくり。環境と調和し、家族の団らんが自然と生まれるような、心から「住みよい家」を提供したいという。しかし、それ以上に大切にしているのが「できないことはない」。「お客さんは夢を抱いてお金をかけられる。どんな注文だろうが、プロとして実現する。なんでもできる。できませんとは言いませんよ。時間とお金がかかることはもちろんありますが」と神庭さんは笑う。

そのためにも、お客さんとしっかりコミュニケーションをとる。例えば「窓がほしい」と言われても、景色が見たいのか、明かりをとりたいたのか、風通しをよくしたいのか、理由によってどんな窓かは大きく変わってくる。場合によっては窓でなくてもいい

かもしれない。「何のためにという観点を大切に、お客さんの夢をうまくリードしてあげたいですね」。古民家のリフォームを依頼され、構造を調べ上げて、骨格を壊すことなくイメージチェンジしたこともある。暗くて圧迫感のあった家が、風通しの良い明るい家になったと喜んでもらったという。「引渡後にわざわざ見に行くときもありますよ。夜、明かりがともって生活されているのを見ると、育てた娘を嫁にやった感覚というか、喜びがあって。やっぱり建築士が好きなんですね」

神庭さんは今後、地元で自然を壊さずに山の斜面や荒地地を活かすような家、団地づくりにチャレンジしたいという。「ようやく田舎が売り出せる社会的な風潮になってきた、いいタイミング。技術がある雲南市の設計事務所、工務店と一緒に、地域をあげてやってみたい」



神庭健治 代表取締役

有限会社 建人



代表者 神庭健治 代表取締役  
 創業 平成4年5月1日  
 「カンバ建築設計」として  
 設立 平成18年4月1日  
 「有限会社 建人」として  
 社員数 7名  
 事業内容 建築の設計・施工・管理  
 エクステリアや家具の制作  
 軽微な土工工事  
 建築資材の販売  
 宅建業  
 ローン・助成金等各種手  
 続き  
 所在地 〒699-1205 雲南市  
 大東町須賀66  
 電話番号 0854-43-6818  
<http://user.yoitoko.jp/kanba66/>



## 若手社員 インタビュー



子育て中にも  
やさしい職場！

デザイン・  
コーディネーター  
**拵 真弓**  
2009年入社 /  
雲南市出身、雲南市在住

企画・設計  
**秦 友美**  
2017年入社 /  
松江市出身、雲南市在住

### できあがりまで見届けることができるのが魅力

— 建築と女性という一見遠いイメージがあるが、どんなきっかけで入社したのだろうか。

秦:土木の設計コンサルタントをしていましたが、幼いころの夢が家を建てることだったので、ハローワークで近くにある建築の仕事を探したら「絶対ここがいいよ。希望している職種ぴったりだよ」と勧められました。

拵:父が社長ということで、最初はちょっとお手伝いのつもりで広告関係のデザインをしていました。そのうち設計もやってみないかと言われてやってみたらプレゼンで勝ち、意外と才能あるかなと(笑)

— 毎日の仕事ぶりややりがいは。

秦:昨年入社したばかりで社長に教えてもらいながら、勉強中です。プラン作成でも社長が意見を聞いてくれ、チャンスしてくれるのがありがたいです。

やっぱり図面書いてできあがったときうれしいですね。CADを持っているので家でも暇があると図面を描いて遊んでいます。また、今までの仕事では図面を描いてあとはやっただけで終わりだったのですが、この会社は設計と施工両方あるので、できあがりまで見届けることできるのも魅力です。

拵:担当する案件の間取りをつくって、現場に出掛けて施工図を見ながら内装をどうするかなどプランニングします。幅広い知識が必要で、こんなに責任が重いんだ

と痛感しています。ホームページやパンフレットもつくっています。

お客様の想いを引き出すことにやりがいを感じますね。ライフスタイルを考えて、自分の中でシミュレーションして、ここにこれがあった方がいいな、とか。ぴったりきたと喜ばれるとうれしいですね。

— 話しながら笑顔が絶えない2人。今後の目標を聞いてみた。

秦:お客様に提案して通るようなプランニングをして、一軒建ててみたいです。施工の管理もできるように施工管理技士の資格もとりたい。いい先輩たちがいるので、現場も見て設計もできるようになりたいです。

拵:女性が現場って嫌がる人多いと思うんですが、秦さんは本当に、行きますー!って、屋根まで登って、めっちゃキラキラしているんですよ(笑)

秦:皆さんすごくやさしくて、働きやすいです。

拵:私は詳細な図面を書けるようになりたいですね。社長の持っている幅広い知識を盗みたい。スキルはある会社なのに、伝達できていないのが課題だと感じています。愛着もあるので、受け継いでいきたいです。

とっておき!  
うんなん暮らし



「棚田カフェ」でランチ

全国棚田100選に選ばれている山王寺の棚田を展望し、名物「まこもカレー」をいただきます。



パワースポット「夫婦岩」

須我神社の奥宮で、山の中にあります。とても神秘的な空間です。建人で休憩所を建てました。

## Q&A 一問一答

### 建人という社名の由来は?



最初は設計事務所でしたが、どんどん工事もするようになり、工務店として設立しよう。従業員にも聞いたり、すごく悩んだのですが「建てる人」というのをそのまま使い、プロ意識も感じさせる名前になりました。

### 子育てしながら働くのは大変ではないですか?



秦:小学生と高校生の子どもがいます。週4日、9時から17時半までという勤務形態です。急に休むときも快諾してもらっています。



拵:私も保育園の子どもがいて、9時出勤。熱が出ると休んだり在宅勤務したりします。子連れ出勤OKで一時は設計室にベッドを置いてもらっていました。

こんな人と  
一緒に  
働きたい!

- ものづくりが好き
- 学びたい意欲がある

建築業界でも分業化が進んでいる昨今ですが、建人では、設計と施工を一貫して受け持つことができ、仕事範囲も宅建業から家具制作まで幅広いです。資格の取得も後押ししますし、学びたい意欲がある人に向いていると思います。ぜひお待ちしております!



Keyword

アートマネジメント

芸術文化

市民協働

Vision

文化・スポーツの  
専門スタッフが  
キラキラ輝く市民を支える。



市民とつくる  
プログラム  
芸術文化・スポーツを軸に  
地域を盛り上げる  
プロジェクトを展開!

kirakira unnan 株式会社 キラキラ雲南

「事業を通じて市民の皆さんに輝いてもらいたい」そんな願いを込めてつけられた社名の会社がある。株式会社キラキラ雲南は平成6年に設立され、現在の社名には合併を機に変更した。一言で言えば、雲南市の所有する文化・体育施設を、指定管理を受けて運営する会社だ。施設や備品を含めた多くは雲南市の所有物なので、固定資産はほとんど持っていない。しかしそのことについて文化施設「ラメール」の大坂マネージャーは「私たちにとっては優秀なスタッフが財産です」と胸を張る。例えば芝居や音楽に専門性のある職員が文化事業を作り、体育施設でも各種競技の指導力の高い職員がレスリングや陸上などの教室を開催している。専門知識や能力を見込んで採用することもあれば、入社後スキルアップを応援していく場合もある。「中には水泳採用ではないがプールのリニューアルに合わせ水泳指導の資格をとり頑張ろうとする職員もいます」そういう成長を後押しし、新しい取り組みを応援するという社風だ。挑戦することがスタッフの成長につながるという。

また、大切にしている視点に「市民との協働」がある。「基本的には雲南市をどう盛り上げていくかということが大事。地域の皆さんと連携して事業に取り組むことを意識しています」。その理念からは、市民参加で平成7年から毎年継続

して公演している音楽劇や、地元を題材にしたテーマを扱い異例の観客動員数を誇る市民劇を作り上げるなど、県内でも類を見ない様々な取り組みが生まれた。「最近、芸術のアウトリーチ（現場出張）という例が見られますが、実は私たちは昔から、アーティストを小中学校に積極的に派遣してサプライズを起こすなどしてきました。現在も30代以下のスタッフがほぼ9割方現場を動かしていますので、比較的新しいこと、求められることに敏感に対応する会社の雰囲気はありますね」。

アーティストは県外からやってくるプロばかりとは限らない。「事務所に立ち寄る一見普通のおじさんが、実は優れた神楽の舞い手だったり、地元を代表する演奏家であることもあります」。そうした市民を一人のアーティストとして見て、いかに舞台上で輝いてもらうサポートができるか。

表立って注目されるわけではない黒子の役割だが、大坂係長はどこか誇らしげに話してくれた。



大坂亮 総務部マネージャー

株式会社 キラキラ雲南



代表者 代表取締役  
速水雄一（監査役2名）

創業 平成6年4月1日

従業員数 36名

事業内容 主に雲南市内の文化・スポーツ施設の管理、運営  
・雲南加茂文化ホール  
ラメール  
・雲南市木次経済文化会館  
チェリヴァホール  
・古代鉄歌謡館  
・雲南市三刀屋文化体育館  
アズマル  
・雲南加茂B&G  
海洋センター  
・雲南加茂中央公園  
・雲南大東市民体育館  
・雲南大東公園  
・雲南加茂図書館  
・雲南木次図書館  
・雲南大東図書館  
・加茂岩遺跡ガイダンス  
・マルシェリーズ

所在地 〒699-1105 雲南市  
加茂町宇治303番地  
雲南加茂文化ホール内

電話番号 0854-49-8500

# 若手社員 インタビュー



企画員  
**安部 啓子**  
2012年入社/  
島根大学大学院修了  
松江市出身

## 音楽と人、人と人をつなぐ「橋渡し役」

大学で教員免許を取得し、一時はフルート教室で講師もしていた安部啓子さん。「もともと音楽と教育を両方やるという仕事を探していたときに、ちょうど求人を見て。教育に力を入れたホールだということで、ぜひそこで頑張りたいなあと思いました」現在は企画員として、アーティストの招致やイベントの企画運営を担っている。

「教員になって生徒にいろんな経験をさせたいという気持ちもあつたんですが、今の私は学校の先生とも協力しながら違う立場でそれを実現できていると思っています」

そんな彼女が現在力を入れている事業が「熱響UNNAN」と「ラメールミュージカルスクール（以下、

LMS）」だ。「毎年9月に実施している熱響UNNANという音楽祭は、地域の方と協力してコンサートを作るのが大きな特色です。市内各地で開催する無料のコンサートで、普段クラシックに触れる機会の少ない子育て中の方や高齢の方に喜んでもらう様子を見て、やりがいを感じます。好きな音楽で地域がちょっとでも元気になるお手伝いのできたらいいなと思っています」。また「LMS」では子ども達の成長を間近に見て感動することも多いと言う。「このスクールは3歳から高校生までの子ども達が、歌や演技やダンスに日本舞踊と一年間練習に励み、最後に音楽劇の公演を行います。最初はすごくおとなしかった子が、学校も学年も違う子達と仲良くなって、自ら練習を引っ張る姿や本番の舞台で見せる表情に涙が出ることもあります」子どもと先生、市民とアーティストの「橋渡し役」は、人の上に立つ難しさもあるという。しかし「この仕事、ガッツは必要だと思いますよ」と語る安部さんの顔は晴れやかだ。



照明、音響などの業務も

とっておき！  
うんなん暮らし



地域でのボランティア演奏  
地域のイベントやお祭りなどで、自分の専攻であるフルートを演奏させていただくこともあります。



加茂町の桜

ラメールの周りは桜がきれいに咲くので、毎年、休館日に職員でお花見をします。地元の出仕屋さんによっていただく美味しいお弁当が楽しみです。

例えばこんなプロジェクトを企画・運営しています



**ラメールミュージカルスクール**  
音楽やダンス、日本舞踊、演技を学び、本物の舞台を体験する学校。「創作ミュージカル公演」をめざしてチャレンジするプログラム。



**雲南市創作市民演劇**  
公募の市民でつくる雲南市の創作市民演劇。演劇の世界に触れる喜びを体感し、参加者の相互交流と出会いの場を得るプログラム。



**UNNANアートスタート**  
雲南市で小さな子どもたち、そして親子のための「アート体験」とおとして「表現すること」の楽しさを感じてもらおうプログラム。



**わくわく教室**  
雲南市の文化・体育施設を開放し、子どもたちが「楽しく・面白く」「安心・安全に」「いつでも・どこでも」参加できるプログラム。



**雲の音まつり**  
「加茂にカモン！」がスローガンの雲南発・ミュージシャンによる祭典。その名の通り、「雲」南市ゆかりのミュージシャン大集結!!

こんな人と一緒に働きたい!

- ・ 人との関わりに興味がある
- ・ サプライズを仕掛けることが好き

学歴や能力の高さなどもありますが、やはり「市民の目線に立ったコミュニケーション力」。そういう人は事業を市民の皆さんと一緒に盛り上げることができると思います。また興味関心のある分野や、得意分野を持つ人は強いと思います。



Keyword

個性

プレス

一貫生産

Vision

地域で生まれて半世紀  
多様な個性が集まり  
歴史を創る



アッシー部品

抜く！曲げる！  
溶接の多くの工程に  
わたる製品



協栄金属工業株式会社



## 協栄金属工業株式会社

KYOEI METAL WORKING INDUSTRY CO.,LTD.

雲南市掛合町に本社を置く協栄金属工業。取引先は山形県から福岡県まで全国80社以上で、厨房機器や農業機械など、およそ5,000種類を超える金属部品の製造をしている。元々は掛合町が過疎地域の雇用対策として誘致した大阪のメーカーが、昭和46年に造った工場だった。円高不況により閉鎖されたが、「過疎地域の雇用を守りたい」という願いから、地元の有志が出資しあい、昭和47年に今の会社として創業した。

そんな同社の3代目の社長が小山久紀氏だ。就任したのは平成22年。なんと入社4年目の時だった。社長就任前の平成19年頃から、会社はリーマンショックなどによる影響で受注が大幅に減少。売り上げはピーク時の半分にまで落ち込み倒産の危機にあった。当時総務部長だった小山氏は再建計画に奔走。そんな中での社長就任要請に戸惑いがあったが、ある光景を目にして決意をしたという。「忘れ物を取りに夜遅く会社に戻った際、何人もの社員が納期に間に合わせようと工場で懸命に作業をしていたんです。リストラや給料カットもしていた最悪の状況のなかで。その姿を見たとき、こんな社員とだったら絶対に再建できる！と直感しました」今では、約4,000坪の広大な敷地に6つの工場と1つの検査小屋を完備。120台以上の大型機械を保有し、同業界では山陰地方

で最大級、中国地方でも5本の指に入る規模の会社となった。「充実した設備と長年にわたり培ってきた技術によって、材料調達から設計、加工し、完成品として納入するという『一貫生産』が当社の強みです」

社員の定着率も高い協栄金属工業。その秘訣はどこにあるのか。「個性を生かす」ということを重視しています。好きなことと出来ることは必ずしも一致しません。好きでないことでも出来る仕事を徹底的に伸ばしていけば、みんなから期待され必要とされ、結果、仕事にやりがいが生れます。何でも出来る人ではなく、一つでも飛び抜けたところがあればそれで良いと思っています」

その言葉通り協栄金属には様々な個性が集い、障がい者雇用も8.76%と非常に高い。年間に80回社内社外研修を実施し、資格がなくとも入社後にスキルアップができ、各部署の上司が適材適所を見極める。「足元だけを見ると経営は順調ですが、リーマンショックから10年経った今、同じような〇〇ショックが起こるとも限りません。外部環境の変化に柔軟に対応できるよう、常に備えておかなければと思っています」



代表取締役 小山久紀

代表者 代表取締役社長  
小山久紀

創業 昭和47年2月24日  
社員数 81名

事業内容 ・精密薄物板金加工  
・パイプ加工、組立  
・自社商品の製造販売

所在地 〒690-2701  
雲南市  
掛合町掛合1865番地

電話番号 0854-62-0015

F A X 0854-62-0831

## 若手社員 インタビュー



製造部製造1課B班

園山 徹

2013年入社 / 大社高校佐田分校卒  
出雲市出身



### 過ごしやすい雰囲気の中で、着実なスキルアップ！

高校を卒業後、新卒で入社した園山徹さん。地元の出雲市で就職も考えていたが、掛合町に住む祖母の話聞いて協栄金属工業に興味を持ったという。「昔、祖母が協栄金属工業で務めていたんです。近所の人も一緒に働いていたそうで、社員同士が仲が良いということを知っていました」

聞いていた話の通り、入社後も良い印象は変わらなかったという。「上司がいい人ばかりで過ごしやすいです。僕は人見知りをするのですが、先輩から話しかけて



くださるので、仕事のことも相談しやすいですね」今年で入社6年目を迎える園山さんは製造部の所属。他部署からくる部品を機械で溶接する仕事をしている。高校では物作りや工業系の勉強

はしていなかったが、スキルは全て仕事現場で身につけた。フォークリフトの資格も入社後に取得し、溶接に伴う業務の幅も広がったという。「今では結構仕事を任せられたりもします。初めて扱う部品について、自分でデータを入力したり、どういう風に組み立てれば良いかなど図面を見ながら考えて作業をしています。自分でやっているなという気持ちになれます」

プライベートでは、歳が近い会社の先輩や後輩と過ごすこともあるという。「共通の趣味があるので、イベントがあるときは一緒に大阪や東京に行くこともあります。飲みに行ったりもしますが、仕事の話はほとんどしないですね(笑)」

これからも協栄金属工業で勤めていきたいという園山さん。46年前、掛合のために創業した協栄金属工業。祖母から孫へ、掛合に根付いた熱い想いはこの地でしっかりと受け継がれている。

とおき！  
うんなん暮らし



親睦会バーベキュー

毎年、恒例の親睦会バーベキュー。カラオケもあって、大盛り上がり。あー、楽しかった。



社員旅行

2年に1度の社員旅行。フェリーはとても気持ちよく、美味しい料理も最高でした。

## Q&A 一問一答

### 職場体験学習などにエントリーされていますが？



まずはこんな会社があると知ってもらおうと雲南市内の中学校が実施している「夢」発見ウィーク※1や高校、高専、障がい者などの職場体験学習の体験先として参加しています。他にも行政実施の企画や、市内の中学校や高校などで講演もしています。このような活動がきっかけで、入社してくれた社員も数多くいます。

### 取引先はどのような企業が多いのでしょうか



主に厨房機器や農機具、食料品関係の会社様が多いですね。外食と農業関係が当社の売り上げの70%を占めています。TPPをはじめ外部環境の変化に影響を受ける可能性もあるので、広報活動などを通じ、現在様々な業種にもアプローチしています。

※1「夢」発見ウィーク…雲南市が進めるキャリア教育の一環として中学生が市内の事業所で働くプログラム

### 協栄金属工業の社名の由来は？



「協栄」という会社名には、「株主(地元の有志)」「地域」「社員」の3つの力を合わせ、地元で繁栄する会社になるという再建時の想いが込められています。リーマンショックの大変な時期に社員一丸となって頑張ったのも、そんな想いが社員一人ひとりにあったからなのだと思います。

### 今後仕事でやってみたいことは？



今年で6年目になるので、人に教える立場になったときにちゃんと指導ができるようになったらと考えています。今も時々人に教えることがあるんですが重要なポイントを説明するのが難しく、色々試行錯誤しながらやってみているところです。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- ・ 協調性がある
- ・ 個性や技術を伸ばしたい

当社ではなによりも「和」を大切にしています。社内はもとより、協力会社や地域社会などのことを考えながら行動できる人が集まることで、大きな総合力が生まれています。そして、一人ひとりの個性や適性を活かしてできるだけ得意分野が伸びるような教育方針です。



Keyword

ポンプ

ものづくり

オーダーメイド

Vision

ポンプは産業の心臓  
企業のニーズに合わせて  
オーダーメイドポンプ！



ステンレス製  
渦巻ポンプ  
MAP型カットモデル  
数十点ある部品を組み合わせ  
ひとつの製品(ポンプ)に  
なります



SINCE 1923

## 株式会社丸八ポンプ製作所

2018年12月で95周年を迎える株式会社丸八ポンプ製作所。東京に本社を構え、名古屋、大阪、岡山、福岡、愛知、そして島根と全国6箇所に拠点を持つポンプ製造の老舗企業だ。本格的なポンプの生産拠点として島根工場が開設されたのは2007年のこと。開設時から工場長を務める野津宜則さんに当時の様子を伺った。「工場の稼働当初は7名の社員でスタートしました。当時は製造の部署しかありませんでしたが、今では社員数も34名に増え、製造業務に技術、商品管理なども全て島根工場で完結しています」

島根工場で製造されているポンプは、地下から液体を吸い上げるもの、特殊な液体を送ることのできるもの、給油に必要なポンプなど身近なものまで、種類や用途も様々だ。それらは食品関係や化学薬品を扱う会社、原子力や医療・研究分野に至るまで、幅広い業種の機械に組み込まれ、液体を運んでいる。全国各地の企業から同社が支持される理由の一つに、フットワークが軽く素早い対応力があげられる。「1から作るオーダーメイド品もこの工場を手掛けていますが、例えば他社が半年かかるのであればこちらは3、4ヶ月でやろうというスタンスです。特急品に対応するための在庫管理や、お客様のオーダーによって特殊加工をするなど様々な工夫を行っています」。

色々な部署での経験を推奨していることも島根工場の特徴だ。「せっかく丸八にきてポンプを作るだけでは面白くないですよ。機械加工もするし、組み立てもするし、検査もするし。様々な経験をすることで社員にとっても自分の向き不向きを知ることができます。それだけでなく、他の部署を経験することで社員同士、お互いの苦労もわかりますよね。短納期が迫られた時、お互いに協力しようという気持ちも芽生えます。「部署に垣根は作らない！」と僕は社員に言っています」

さらに、島根工場が目すべきは離職率の低さにある。その理由とは。「製造業の工場としては珍しいかと思いますが、うちは8時20分から17時20分までの8時間勤務で、土・日・祝日とカレンダー通りに休みを取っています。余程のことがなければ、残業をしても1時間程度です。自分の時間が持てることは、社員の満足度にも繋がっているのではないのでしょうか」



工場長 野津宜則

株式会社丸八ポンプ製作所



代表者 取締役社長 吉田友彦  
創業 1923年12月1日  
設立 1948年11月29日  
従業員数 95名

事業内容 ポンプの製造、販売ならびに  
ポンプ関連機器の製造、販売

所在地 〒699-1104 雲南市  
加茂町南加茂687番地7号

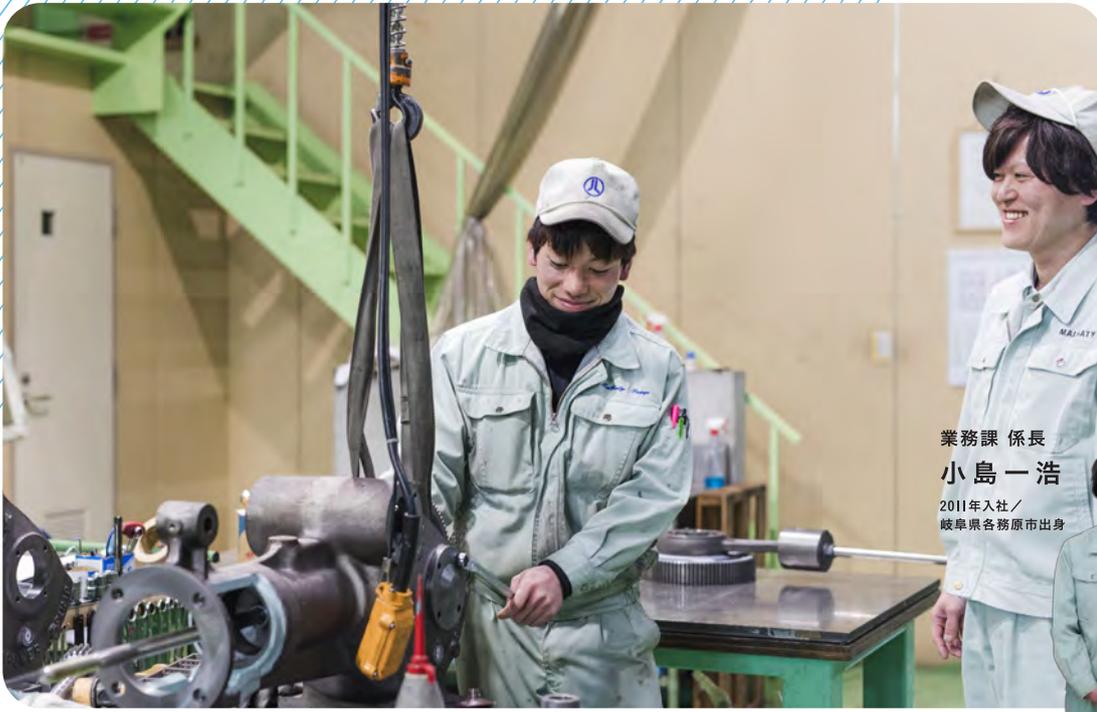
電話番号 0854-49-9508

http://www.malhaty.com/

# 若手社員 インタビュー



地元とIターンが  
混ざり合う  
若手の多い職場!



業務課 係長  
**小島 一浩**  
2011年入社/  
岐阜県各務原市出身

製造課 組立係  
**奥井 和樹**  
2016年入社/  
三刀屋高校掛合分校卒業  
雲南市出身

## メリハリのある働き方も魅力

一島根工場で業務課係長を務める小島さんと、製造課で組み立てに携わる奥井さん。二人とも入社するまで、ポンプに関して詳しく知らなかったと口を揃える。入社後のきっかけを尋ねた。

**小島:**中途入社で、製造業自体が初めてでした。事務作業もしたことがなく、逆に自分の全く知らない業界や業種だったからこそ興味を持ってたということもあります。  
**奥井:**僕はものをつくるのが好きなので、高校を卒業したら製造業に就こうと思っていました。ずっと同じ作業をし続けるのは得意じゃないと思っていたので、工場見学の時に、ライン作業じゃなくて、一台のポンプを何人もの人が関わって組み立てている様子を見て、ここが



合っているなど感じ志望しました。

一岐阜県出身、元々は愛知県の小牧事業所に勤務していた小島さん。

転職先となった島根工場で縁があり、結婚を機にそのまま雲南市にIターンすることに。

**小島:**当社で働くようになるまで、島根には一度も来たことがなかったですね。初めは不安もありましたが、雲南市の人は距離が近く繋がりやすさを感じました。

—今の仕事でのやりがいや、入社して良かったことは。  
**奥井:**実際に見たことはないですが、自分の組み立てたポンプが色々なところで使われていると思うとやりがいを感じます。良かったことは、オンオフの切り替えがしっかりできること。土日祝日に休みが取れて、平日も勤務が17時20分までなので、地元の友達と遊んだりできるので良いと思いますね。

**小島:**取引先など外部の人とのやりとりも結構あります。時には海外とやりとりすることも。通訳もいるんですけど、言いたいことがうまく伝わらなかったり大変ですが、うまくいくと嬉しいです。

とっておき!  
うんなん暮らし



スノーボードやバイク  
バイクで出かけたり、スノーボードをしたり大自然を楽しんでいます。



趣味はマラソン  
同僚と一緒にすぐ近くの宍道湖一周に挑戦したことも。

## Q&A 一問一答

### Q 転職をすることはありますか?



本人の希望や適性をみながらですが、県外の5箇所ある拠点に転職することはあります。2年にせよ3年にせよ、県外に行くと戻ってくると、社員の变化や成長を感じます。島根にいる社員は真面目でおとなしい印象ですが、転職を経て、自己主張がしっかりできるようになりますね。

### Q 工場見学ができるんですか?



自分は高校時代に工場見学をさせてもらいました。工場全体の作業を見学させてもらったのですが、周りを見た時に平均年齢が若い人がばっかりで、活気のある職場だなと思いました。

### Q 若い人が多いようですが、会社の雰囲気は?



困ったことがあっても気軽に相談でき、あまり気負いしないので働ける雰囲気です。島根工場自体はできてからまだ10年くらいしか経っていないので、各営業拠点の先輩方や、小牧事業所のベテランの先輩方も連携して、必要な知識は教えてもらいながらみんなで頑張っています。

### Q 特徴的な福利厚生などはありますか?



家族手当や誕生日祝い金とかもありますが、それより製造業としては週休2日が一番の特徴だと思います。長時間労働がほとんどなく、ちゃんと時間を区切って働けるというところも特徴ですね。

こんな人と一緒に働きたい!

- ・とにかく新しいものが好き
- ・地域との関わりが好き

ものづくりが好きで、小さなアイデアでもすぐに実行するような積極性や、誰とでも意見を交わせるコミュニケーション能力の高い人が希望です。退社後や休日などにも、家庭や地域との関わりを大切にしている人には特に働きやすい環境だと思います。



Keyword

構造物

まちづくり

ライフライン

Vision

地域の役に立ちたい！  
道路に建物  
まちづくりに直結する仕事



地図に載る

道路や建物を作り上げる。  
できたものは地図に載る  
喜びがあります！

## 株式会社 中澤建設

平成13年、中澤建設の3代目社長に就任した中澤豊和さん。昭和23年に祖父がはじめた事業が同社のはじまりだが、当時はまだ現在のような会社組織ではなかった。「国道54号線が開通した当時、住宅などの建物を建てて欲しいという地元の声が多く寄せられました。そこで近所の人や従兄弟の農家に声をかけ、百姓仕事と並行して事業を開始しました。農家には優秀な人が多いですね。縄の巻き方一つとっても代々受け継がれているノウハウがあって。様々な知識や下地が建設業にも生かされてきました」

半農半商から始まった建設事業は、インフラ整備と地域の発展に伴い、不動産、林業、車の販売・修理、生コンクリート製造など様々な事業に拡大。ピーク時は十数社を束ねていたが、15年ほど前に6社を独立させ、残りの事業は中澤建設に集中させた。

「地元に戻る気はまったくなかった」そう語る息子の太輔さんは、大学卒業後に県外で製造業の営業をしていたが、地域を支えるため生まれた会社を引き継ぐために帰郷。「おじいちゃんが出来て大きくした会社だから、潰すことはできないな」と。同社の取締役役に就任し、現在は親子で会社の舵を取っている。「うちの強みは技術力です。土木技術者全員が土木施工管理技士1級の資格を取得しています。また市内の道路

や公共施設も数多く施工していて、地域の方々から長年信頼いただいていますし、そういうお客さんと顔の見える関係を持てるのがこの会社の良さかなって。近いほうが、その人に本当に責任を負えると思っています」と太輔さん。父豊和さんは「人に喜んでもらえて初めて企業としての存在価値があると思っています。親父は“自分はわらじ人生だ”とよく言っていました。人が踏んで使ってもらえる人生であれば、悔いのない人生が送れるのではないかと」。

次世代を担うリーダー太輔さんが見据えるものとは。「掛合」というサイズじゃちょっとわからないんですね。雲南市、日本全体から見ても、もっと外からの新しい知識、多様な文化や考えを取り入れていかないといけないと思います」。太輔さんは若手の集まりや異業種交流会などにも積極的に参加している。地域に貢献し、地域の人と盛り上げてきた会社。時代に変化に合わせそのスタイルを変化させつつも「わらじ人生」この気持ちだけは変わらず受け継いでいる。

次世代を担うリーダー太輔さんが見据えるものとは。「掛合」というサイズじゃちょっとわからないんですね。雲南市、日本全体から見ても、もっと外からの新しい知識、多様な文化や考えを取り入れていかないといけないと思います」。太輔さんは若手の集まりや異業種交流会などにも積極的に参加している。地域に貢献し、地域の人と盛り上げてきた会社。時代に変化に合わせそのスタイルを変化させつつも「わらじ人生」この気持ちだけは変わらず受け継いでいる。

中澤豊和  
社長中澤太輔  
取締役

株式会社 中澤建設

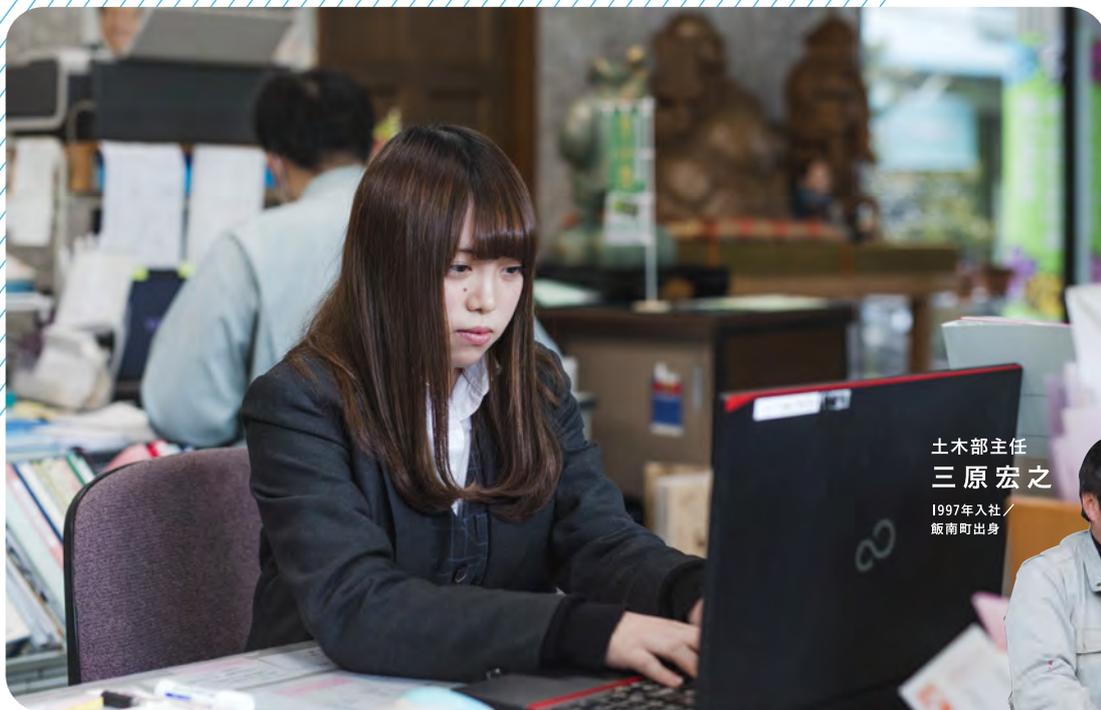


代表者 中澤豊和  
創業 昭和40年4月  
従業員数 26名

事業内容 総合建設業  
・ 建築部  
・ 公共事業・民間事業共に  
新築・改修・補修等  
・ 土木部  
災害復旧や道路改良の  
施工や橋の補修、砂防・  
治山工事等

所在地 〒690-2701  
雲南市掛合町掛合2429-2  
電話番号 0854-62-0219

# 若手社員 インタビュー



土木部主任  
三原宏之  
1997年入社 /  
飯南町出身



事務  
清水史佳  
2017年入社 /  
三刀屋高校卒  
雲南市出身



## 気さくな先輩たちに囲まれながら奮闘中！

経理を担当する清水さんは、雲南市三刀屋町の出身。高校卒業後、新卒で中澤建設に入社した。「求人票を見て、まず会社見学にきました。希望する事務の仕事を見させてもらい、社内の雰囲気も良かったので入社を決めました」高校では簿記など事務仕事に関することは一切やったことがなかった清水さん。入社後、仕事で精一杯になりながらも、着実にスキルを身につけている。「入社後の研修で、ワープロ検定を取得できたのが良かったです。今月は建設業経理士の検定があるので、それに向けて今は勉強しています」

同期入社の子はいないとのこと、普段のコミュニケーションについて尋ねた。「雲南市の企業合同入社式に出席し、会社は違いますが同期の知り合いができました。社内だと、夏にあったバーベキューに参加したら、普段あまり話す機会のない現場の方と話ができて良かったです。それ以外にも、仕事の合間に話しかけてくださるので、会社の雰囲気にもだんだん慣れてきました」10代、20代の同世代が少ないながらも、顔が見える会社ならではのコミュニケーションが中澤建設の働きやすさになっている。

## コミュニケーションを工夫！頼れる現場監督！



土木部主任として土木工事の管理をしている三原さん。土木施工管理技士1級をはじめ、建築施工や下水道技能士など様々な資格を保有するプロフェッショナルだ。県道の道路改良工事のほとんどに携わり、中には10年くらいの期間をかけて開通に至った工事も手掛けた。「やりはじめはきつい仕事だと思いましたが、一つの工事を終わらせるごとに達成感があります。大変なら大変なほど、終わったときの喜びが大きいです」

主任という立場から、従業員はもちろん依頼主からの意見や相談も様々寄せられる。そうした現場の管理だけでなく、悩みを聞くなど精神的に頼りにされることも。「それぞれ不満を感じることもあると思いますが、そういうことも話しやすい雰囲気が心がけてます。最近は忙しくても、それをどうこなすか工夫するのが面白くなるようになってきました。」

とっておき！  
うんなん暮らし



### 三刀屋川の桜土手

地元の名物の桜がとても素敵で大好きです。寒い冬を越えたらこの景色を見るのが、とても楽しみです。



### 居酒屋「大将」

大将がとっても気さくで、料理もおいしいです。特に、大将ご自身で釣上げた鮎などはいつも新鮮で、行く度に楽しみなんです。

## Q&A 一問一答

### Q 雲南市で仕事をする良さは？



地元の皆さんに寄り添えることですね。除雪作業なども行っていますが、中山間地域なので山の上にある家にたどり着くのは随分遅くなってしまいます。それでも、そこに住むご年配の方が心待ちにしてくださり、「4日ぶりに人と喋るわ」と非常に喜んでくださったこともありました。

### Q 建設業は3Kと言われてますが？



確かに3Kというのはイメージというより実際にきつい面はありますね。ただ、私は営業の経験もありますが、建設業だからこそ面白さもあると思っています。構造物が作れるのは、この業種ならではのやりがいになりますし、出来上がったものを見るとさらに良さが実感できます。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- ・ 素直が一番！
- ・ 自分なりに考え行動できる人

素直なことが最も重要です。人の話をよく聞き、その上で自分の頭で整理し、自分なりの答えを出して、行動できる人を求めています。割合としては年配の方が多岐職場ですが、和気藹々と何でも話せる人たちがばかりです。年齢が離れていることで、逆に色々話ができるので、なんでも相談できます。



Keyword

カーメンテナンス

現場主義

チームプレー

Vision

カーライフの  
あらゆるニーズに  
強いチームをつくる！



テクニカル  
システムカー  
移動式タイヤ交換  
サービスカーで  
どこでも伺います！



## 有限会社タイヤセンター雲南

松江市～尾道市を繋ぐ中国やまなみ街道の三刀屋木次IC、そして国道54号線などが集まる交通の要衝のすぐ近くに安全ドライブの頼れる味方、「タイヤセンター雲南」がある。トラックをはじめとした特殊車輛専門のメンテナンスを中心とした「タイヤセンター雲南」と乗用車向けタイヤ専門店「タイヤ館」出雲・雲南の3店舗を運営している会社だ。

タイヤセンター雲南は法人向け。同社社長のご子息である専務の松田岳士さんに繁忙期はいつなのか聞いてみた。「3・4月と11・12月ですね。山陰地区は降雪があるので、タイヤ交換で忙しいですね」。カバーエリアは、雲南市を主体に、松江、出雲、大田、飯南と広く、出張サービスをすることもある。「運送業よりも土建屋さん、建設屋さんが多い地域。特殊な重機も多く、現地での適切な作業が難しいこともあります。距離もあるので何往復するわけにもいけないし…」

そこで、2018年4月から新しいサービスカーを導入し、出張サービスを強化した。サービスカーの中に最新の機材・設備を備えているので、タイヤ交換はもちろん、出張先でのあらゆる状況に対応出来るようになる。顧客側にもメリットがある。タイヤセンターに出向く手間なく、何台ものメンテナンスが自社の敷地で受けられるので労力軽減、ひいては人件費などのコスト削減が可能となるわけだ。「時代は変わりますし、ニーズに近

づくためにいろいろ考えます。お客様との“WIN WIN”の関係性をつくることを大切にしています」

タイヤセンターに入る前は、ビルの総合管理の仕事をしてきた松田さん。現場とコミュニケーションをとり、迅速な判断が求められるポジションを経験したからこそ“現場の声”の大事さがわかるという。楽しく働ける職場づくりがチーム力強化に繋がる。「もともとは、家族経営の1店舗からスタートした、極端にいうと“松田商店”でした。今は人も増え、“商店”から“企業”に変化していく時期だと思えます。でも社員を従業員とは呼びたくない。呼ぶならスタッフです。1つのチームなんです。商店の強み、温かみは先代からの財産として受け継ぎつつ、効率化できるところはシステム化して労力軽減を。スタッフの意見は積極的に取り入れます。行き詰まったり失敗したら見直せばいいですし。スタッフとも“WIN WIN”の関係が大切ですね」。昨年末には会社の基本理念や給与体系などを見直した。お客様に愛されるお店であるためにチーム・タイヤセンターのチャレンジは続く。



専務取締役 松田岳士

有限会社タイヤセンター雲南



代表者 代表取締役 松田勇  
設立 昭和49年4月5日  
従業員数 10名

事業内容 ・自動車用タイヤ販売修理  
・自動車用品・カー用品  
専門店

所在地 〒699-1333 雲南市  
木次町下熊谷1542-1

電話番号 0854-42-9988

## 若手社員 インタビュー



小山尚志

2011年入社/雲南市出身

### ただタイヤを売るのではない！総合的にお客様をフォロー！

根っからの車好きが高じてここに入社した、テクニカルアドバイザーの小山さん。以前は土木関係の仕事に就いていて、特に車に関する資格や技術を持っていたわけではなかった。「自分で車をいじったりしていましたけど、どこかで習ったりとかはしていなかったですね。整備士の資格も持っていませんでしたが、それでも何か車に携われる仕事がないかと探していたときに、この会社の求人を見つけました」

入社から7年経った今では、店舗での接客、事業所への営業活動のほか、現場での整備作業やスタッフの管理まで、一連の業務を任されているという。「タイ



店内の飾りつけなども  
スタッフで工夫している

ヤ交換から事業所回りまで、大体なんでもやらせてもらっています。タイヤ館はブリヂストンのお店なので作業基準や研修制度もしっかりしていますし、年に2~3回はスタッフみんなで研修に参加して技術の向上に努めています」

「お客様第一」で購入後のアフターフォローにも力を入れている小山さんは、ときには「全部任せるわ!」と言われるほど地元の顧客からの信頼が厚い。「お客様から“やっぱり専門店さんは違うね”と言ってもらえるとうれしいですね。作業のスピードも大事だけど、パンクしたらすぐに駆けつける起動力や臨機応変な対応で、お客様に安心してもらえているのだと思います。ただタイヤを売るだけではなく、総合的にお客さんをフォローしていけたらなという思いで日々働いています」

### とっておき! うんなん暮らし



雲南市某山奥

ここは軽いオフロードもあって横には釣りするとこもあり、山奥なので静かでのんびり出来て気に入ってます。



子供が自然と触れ合える場所  
子供達に、自然と触れ合った思い出を作って欲しくて、春殖の赤川で、アユの掴み取りを行いました。

## Q&A 一問一答

### Q 若いスタッフさんが多いようですが?



20代、30代がほとんどですね。活気があり仲良いです。一人ひとりの魅力を生かし新しい分野などに積極的にチャレンジしています。スタッフから挙がった提案に対して、あれだめ!これだめ!っていうことはなくまずはやってみよう!ということを大事にしています。

### Q タイヤに詳しくないとダメですか?



私自身、入社当時は全く知識がなく、現場からスタートして学びました。タイヤメーカーブリヂストンの直営店として業界の最先端技術を学びやサービスの向上を図る研修なども数多くあります。技術だけではなく自己啓発としても多くの学びがあります。

### Q 好きな車は何ですか?



ランドクルーザーとか、ジムニーとか、オフロード車ですね。よく仲間と一緒に山へ走りに行ってます。旧車とか車いじりも好きなんですけど、走ってる方が好きかもしれないです。

### Q 大型タイヤを扱うのは怖くないですか?



命に関わる作業ですからね。一度ブリヂストンの研修でトラック用のタイヤを爆発させたらどうなるかを見せてもらったんですが、爆発すると人が10~20m飛んでいきますので。その分しっかり研修も受けて、先輩の作業も特に気をつけて見たりしています。

こんな人と  
一緒に  
働きたい!

- ・ とにかく元気がある人
- ・ 向上心があり工夫できる人

元気がある人ならどなたでも!車に詳しい知識がなくても、車やドライブなどに興味があればいいと思います。得意、不得意あると思いますが、得意は伸ばし、不得意を少しでも減らすように研修だったり、機会・環境を会社がつくっていきます。先輩スタッフの経験から教えられることもいっぱいありますし、一緒に会社を盛り上げていきましょう!



Keyword

地域包括ケア

訪問看護

コミュニティナース

Vision

健康 Ⅱ 幸せ。  
地域の健康を  
つくっていくお仕事。



訪問看護

利用者様のご自宅に  
直接伺いケアを  
提供するお仕事！

## Community Care

「コミュニティナース」をご存知だろうか？病院で働くナースとは異なり、地域の中に溶け込み、暮らしに寄り添いながら、病気になる前から健康を見守る存在。膨らむ医療費、人材不足などの問題を抱える医療業界。既存の医療的なケアに留まらず幅広い看護の形が求められている。

(株)Community Careで働くナース達はみんな「コミュニティナース」。雲南の医療ニーズに応え「訪問看護ステーション」を運営している。雲南市の大部分は山間地が占める上、小さな集落が点在していることから訪問看護には向かないと言われている。しかし、総合病院までの交通条件は十分とは言えず、高齢化率も著しく高いため、地域医療環境の改善が求められ、2015年コミュニティナースが一軒一軒訪問する、訪問看護ステーションの計画が立ち上がった。

代表取締役の中澤さんはターン。前職の「地域医療研修」中、過疎化の進む地域での現状を目の当たりにし、医療はケア専門の人だけでは十分にカバーできないと感じていた時、市やNPO、地域住民などが一緒になってチャレンジする雲南市の取り組みを知ったという。「こんなメンバーなら中山間地の新しい医療モデルができるかも！」と、訪問看護ステーション立ち上げに加わり、初代の所長を引き受けた。「医療機関だけでなく地域の住民や、他のジャンルの方とチームをつくってみんなで取り

組みました。今では雲南市全域を24時間体制で対応できるようになるまで成長しました」。

同社の事業所は、旧商店街の空店舗を改装し、地域住民と活用している。地域自主組織と共同運営で住民が集まるサロンを開いたり、高校生に地域医療のおもしろさを伝える授業を行ったりと、多世代間の交流が起きる仕組みが生まれている。「訪問看護に限らず、地域のニーズって？住民の皆さんが求める健康や幸せってなんだろう？というところを一番に考え、柔軟に対応できる組織でありたいです」。

こうした雲南市におけるコミュニティナースの活動がきっかけとなって、コミュニティナースを育成する“Community Nurse Company”をという会社が立ち上がり東京・大阪を中心に受講生が全国に広がっている。中澤さんも講師を勤めている。「地域医療っておもしろいんですよ。長期的にそのひとの生活、生活するまちに寄り添い歩んでいける。関わりが幅広いんです。自分もイチ住民として、そして看護師として学ぶことがたくさんあります。年齢を問わず地域医療に興味を持った方は是非コミケアを覗きにきてください。」



代表取締役 中澤ちひろ

株式会社 Community Care



代表者 代表取締役 中澤ちひろ  
創業 平成28年3月29日  
従業員数 10名

事業内容

- ・訪問看護
- ・訪問介護及び訪問リハビリテーション等の療養サービス提供
- ・看護師、介護士その他の医療・福祉人材の育成及び研修
- ・地域医療・在宅医療に関する情報の提供、啓蒙・教育活動、講演会等の企画運営
- ・医薬品、医療機器、医療用具、介護用品及び衛生材料の販売
- ・介護保険報酬外の生活支援サービスの提供
- ・執筆、出版に関する業務
- ・医療、福祉及び介護に関するコンサルティング

所在地 〒690-2404 雲南市 三刀屋町三刀屋1065

電話番号 0854-47-7215

<http://comcare.shimane.jp/>

## 若手社員 インタビュー



働きやすい職場は  
自分たちでつくる!

コミュニティナース  
安達弓恵

2015年入社 / 創業メンバー



### “不安な思いを安心に”。地域とその人の幸せに寄り添う

コミケア創業メンバーの一人でもある安達さん。出雲の大学で看護を学び、広島県の総合病院で6年間看護師として働いていた。「総合病院では一度に6人の患者さんを対応することもあり、一人に関わる時間がすごく短かったですね。患者さんが話したがっている時も十分に感じられず、悲しいなど思うこともあって」。そんな葛藤があった。

ある時、雲南市で地域医療にチャレンジするNPO法人おっちラボ理事の矢田明子氏の記事を目にし、直感的に面白いと感じた。すぐに共通の知人を通じて紹介してもらい、そこからのつながりで中山間地の生活を調査する

コンサル業に転職。中山間地の置かれている状況に気づかされ、さらに地域医療への興味を強めた。その後、東京で斬新な訪問看護事業を展開するケアプロと出会い「若くても訪問看護ができるんだ！」

と衝撃を受け、雲南市で地域医療にチャレンジしたい、と決意し市が実施する幸雲南塾※1への参加。中澤さんら3名でコミケアを立ち上げ、いまでは所長をしている。

「普段の業務は病院から在宅に移る際の退院カンファレンスや、訪問看護のスケジュール調整などがあります。訪問看護以外では、サロン活動や講演をすることもあります。この仕事の魅力は、人との関係性を築いていくことだと思います。“不安”な思いが“安心”に変わるよう、時には表情や行動のわずかな変化から気持ちを汲み取りながら、一人ひとりに寄り添った対応を模索します。“お陰でよく眠れそう”“次も待っているよ”と言ってもらえることがやり甲斐に繋がっています」

※1……幸雲南塾は、島根県雲南市で、地域の未来を切り拓いていく人材を育成する雲南市のプログラム



サロン活動の様子

## Q&A 一問一答



スタッフはUIターナーが多いと聞きましたが？



はい、たまたま今のスタッフは全員UIターナーですね。平均年齢は29.9歳。特に決まりはないので、地元の方でもUIターナーの方でも、在宅医療や地域ケア、地域医療に興味がある方にはどなたでも来ていただきたいです。



訪問看護って一人で行って自分で診るの？



スマートフォンなどを使ってクラウド上で情報を管理し、先輩ナースに相談できるような体制も整えています。一緒に対応してほしいという時は同行訪問も行います。



病院勤務の経験がもてないのが不安ですが…



訪問看護が初めての人でも、知識や技術を身につけていけるよう、研修や、現場のOJT※2を手厚くしています。コミュニティナースの輪も全国に広がっているので、実践事例の発表会や交流の場をもち意見交換したり刺激し合っています。

※2…「On-The-Job Training」の略称で、業務を通して行う教育訓練のこと。



社長自ら育児休暇をとられていましたが？



その地域でずっと幸せに暮らし働き続けられる環境を実現するために、働きやすさも追求したいし、結婚や出産、家族などのライフイベントを大切に考えています。そもそも心が健康でないと、良いケアはできませんしね。

こんな人と  
一緒に  
働きたい!

- ・ 人と関わるのが好きな人
- ・ チャレンジ精神がある人

これをやりたい!というようなチャレンジ精神や、強い想いのある人と一緒に仕事がしたいですね。訪問看護は1対1のコミュニケーション。人と関わるのが好きで、人の話を聞くのが好きな人、一人ひとりを大事にしたいと思っている方に来てもらえると嬉しいですね。



Keyword

介護予防

ベンチャー

雲南モデルを全国へ

Vision

10  
回  
の  
リ  
ハ  
ビ  
リ  
よ  
り、  
1  
回  
の  
お  
買  
い  
物



ショッピング  
リハビリ®

実際のお買い物を通して  
商業施設の中で楽しく行う  
リハビリです。

## 光プロジェクト株式会社

Creating a world where the elderly will shine. ㊦㊧㊨㊩



光プロジェクトは、専用ショッピングカートを使って買い物を楽しみながらリハビリができる「ショッピングリハビリ®」というモデルを雲南市に導入するなど、全国へ展開中の福祉業界の注目企業だ。

もともと作業療法士として病院でリハビリを担当していた杉村さん。寝たきり高齢者を前に自分の無力さを痛感。予防的なリハビリが必要だと、歩行器の研究を続けていた。ある時、カートを押して買い物を楽しむおばあさんを見て、アイデアが劇的にひらめき、起業を決意。病院を退職し、歩行を補助する「楽々カート」を制作。2017年9月に雲南市の商業施設にて事業を本格始動させた。

「ショッピングリハビリ®」は、週に1回、送迎付きで、商業施設内に設けたスタジオにて体操や運動などのリハビリを行い利用者の健康状態をチェックした後、カートを使って施設内をウォーキングしながら買い物をするプログラムである。特徴的なのは、何より利用者が買い物という日常行為を「楽しむ」うちに2,000~3,000歩自然と歩いていることだ。「つらい」「きつい」というリハビリのイメージを払拭する画期的な手法。利用者たちは季節の商品をチェックしながら、頭も体も活発に動かしていく。利用者たちは季節の商品をチェックしながら、頭も体も活発に動かしていく。一方、約60人の利用者による買い物1

回の単価は3,738円(平成30年9月/月間シニアマーケット平成31年3月号より)。商業施設にとっても大きなメリットがあり、地域経済の活性化にも繋がっている。

さらに、「元気な高齢者が増えれば介護給付費を抑制することが予測される。高齢者の生活支援により、住み慣れた地域で暮らし続けてもらえる」と杉村さんは言う。行政と手を取り合いながら、地域住民の新たなケアサポート方法を模索中だ。

雲南でのモデルづくりはチャレンジの連続。コンサル中心だった事業から、初めて実店舗を構え人を雇用。現場のスタッフが自分たちで考え動いていける職場を目指し、何でも言い合える雰囲気をつくっていった。今では杉村さん抜きでも、現場を回していける自慢のチームだ。

杉村さんは、この「ショッピングリハビリ®」のノウハウを全国の横展開。外部企業と連携し全国に営業をかける。メディアにも多くとりあげられて注目があつまり、北海道恵庭市、茨城県那珂市、埼玉県蓮田市、静岡県静岡市、山形県天童市、福井県勝山市・福井市とのプロジェクトが進行中だ。雲南モデルが今、全国へ広がろうとしている。



代表取締役 杉村卓哉

光プロジェクト株式会社



代表者 杉村卓哉  
設立 2014年9月  
従業員数 7名

事業内容 ・ショッピングリハビリ®・楽々カートの開発  
・ショッピングリハビリ®の仕組みを利用した事業の組み立てサポートやプロデュース

所在地 〒699-1311  
雲南市木次町里方30-2  
マルシェリズ2階

電話番号 0854-47-7332

<https://hikari-project.co.jp>

## 若手社員 インタビュー



作業療法士  
赤名

2018年入社/  
仁多郡奥出雲町出身

理学療法士  
和久里

2017年入社/  
広島県出身



### 理想のアイデアを現実に、笑顔あふれる場を共につくる

— ともに福祉の現場で働いた経験から、ショッピングリハビリのアイデアに共感して集まり、運動指導や買い物中の見守りを担当し、今では自分たちで現場を切り盛りする女性二人に話を聞いた。

**和久里:** 雲南で始まる新しい事業がすごく面白くて魅力的だなと思って、手をあげました。以前は理学療法士として病院でリハビリを担当していましたが、子育てもありしばらく専業主婦だったので、久しぶりの職場です。

**赤名:** 以前は老人保健施設で作業療法士として働いていましたが、買い物がりハビリになるというアイデアが、私が目指していたものと重なり思わず応募しました。高齢者が施設に入る前に、地域密着型で継続的、予防的なりハビリが家から通いできればいいな、と思っていたんです。

— 理学療法士は、立つ・歩くなど体の基礎機能・基本動作の回復をサポートし、作業療法士は、入浴・食事など日常生活の作業のリハビリを担当する。「ショッピングリハビリ®」はりハビリ専門職でなくても実施可能なプログラムだが、二人はそれぞれの専門の知識と経験を生かし、介護予防のために効果的な動きを利用者に伝えている。

**和久里:** 利用者さんは体に痛みがあり運動ができず、家にこもりがちな高齢者たちです。週に1回、同じメンバーで実施するので、お互いに顔見知りになって話をしながら買い物を楽しんでおられますよ。独居の方も多いため、コミュニケーション

がたくさんとれるよう工夫しています。

**赤名:** ショッピングモールは、段差もなく空調も効いていて、刺激が多いのが病院や施設と違うところですね。並ぶ商品も日々変わりますし、買い物にきていたご近所さんと久しぶりに偶然会って話をすることも多いです。

— 始まって間もない事業だが、利用者さんの声から手応えとやりがい二人は感じている。

**和久里:** ここに来ることが生き甲斐だ、って言うてくださる方がいるんです。ちょっと落ち込んだ方でも、思いっきり笑顔で元気に迎え入れてあげ、ああ楽しかったなと思って帰っていただけるように頑張っています。

**赤名:** 利用者さんも一人一人、その日その日で体調も違うので、注意深く見守りながら寄り添った対応を心がけています。利用者さんと一緒に楽しみながらリハビリに取り組めてることがとっても嬉しいです。



## Q&A 一問一答

### Q 事業を通じてみえる雲南市の特色はなんでしょう？



地域包括支援センターのケアマネージャーさんをはじめ、行政の方が親身に相談に乗ってくれて助かっています。NPOのおっちゃん経由で、想いのある大学生がインターンに来てくれるのも嬉しいですね。

### Q 今後どんなサービスをしていきたいですか？



ショッピングリハビリ®をより多くの人に利用してもらいたいです。全国展開もですが、市内でも送迎時間の都合で対象となっていない遠方の地域にこそニーズがあります。本当に必要な人にこのサービスを届けていきたいです。

### こんなサービスを行っています！



#### ショッピングリハビリ®

高齢者の心身機能の向上と社会参加支援を図り、地域経済の活性化などにも役立つ新しいリハビリテーションサービス。



#### ひかりフィットネス

商業施設内にて毎週開催。誰でも参加することができる健康、ダイエット、美容に対応したフィットネス。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- ・ 失敗を恐れずチャレンジできる人
- ・ プロデュース思考ができる人

チャレンジングな事業に取り組む職場ですので、ぜひ何かやりたいという想いがある方にきてほしいです。提案や工夫は大歓迎。利用者さんを元気づけるためにも、こちら元気いっぱい、笑顔いっぱいでのぞみたいですよ。



Keyword

土木

リフォーム

ものづくり

Vision

未来志向の建設会社が  
まちづくりに挑む



トータルで  
手がける家づくり  
土木建築だけでなく、  
水道工事も自社で  
行えます！

「雲南市の経済を回し、人口減少を止めなければ、私たちの仕事もなくなってしまいます。まちづくりを建設業の視点から常に考えています」。幸和建設の2代目、周藤浩二社長は語る。先代が創業したインフラ整備中心の会社を、公共事業の減少を見据えて計画的に民間の仕事へシフトチェンジ。従来の道路整備や橋脚の修繕などの土木業に加え、新築やリフォームを請け負う建築業、土地を購入・造成し付加価値をつけて販売する不動産業、土地造成の際に採取する真砂土の販売と、時代に合わせ幅を広げてきた。

相談しやすく顔が見える工務店として地域からの信頼も厚い。お客さんとのコミュニケーションを重ね、ニーズを把握。予算に合わせた柔軟度の高い提案が好評だ。あまり工務店にはない水道部門もあるので、水回りのアフターケアにも臨機応変に対応できる。「現場では挨拶から始まり、作業内容や見通しの説明などお客様とコミュニケーションを常にとりながら進めています」。一度工事を請け負ったお客さんが家族構成の変化により増改築を頼まれるケースや、地域の口コミで仕事を依頼されるケースも増えてきた。雲南市はリフォームや耐震工事に対して助成をする定住支援を行っており、ぜひ活用してほしいという。「今は建築士や建築士を目指す人がほしいですね」、二次創業した

建築部門も軌道にのった。

以前からの強みである土木分野でも、土木施工管理技士と、その資格取得を目指す人、土木作業員、女性オペレーター等、新たな人材を求めている。資格取得のための費用補助もあり、会社としてのバックアップも心強い。

高齢化が進む建設業だが、若手社員が多いのも幸和建設の大きな特徴だ。20～30代が仕事を任せられ活躍している。それぞれ現場を持っているが、20人規模の会社なので互いにコミュニケーションをとる機会も多く、気軽に相談もできる。

「地元で雇用が生まれなければ、結局県外に出て行ってしまうんです、人口減となれば社会資本投資も減り、建設業もなりたちません。でも、だからこそ、私たちはそこにチャレンジしているんです」、そんな問題意識から市内にコールセンターを開業。70人規模にまで育てた経験もある。変化する時流を捉え、常に先を見据える周藤社長はフットワーク軽く動いていく。



周藤浩二 代表取締役社長

幸和建設株式会社



代表者 周藤浩二  
創業 昭和42年3月1日  
設立 昭和63年7月2日  
社員数 23名

事業内容 総合建設業(土木工事の設計施工、建築工事の設計施工)  
真砂土販売業  
建築士事務所  
不動産取引業(不動産の売買、交換、賃貸、管理業務)

所在地 〒699-1334  
雲南市木次町新市176

電話番号 0854-42-0506

<http://kowa.shimane.jp/index.html>

## 若手社員 インタビュー



建設作業員  
友塚 伸幸

2018年入社 /  
奥出雲町出身、出雲市在住

### 仕事が形に残る達成感、貪欲に技術を習得中

奥出雲町出身の友塚さん。以前からショベルカーやダンプといった建設機械に興味があったものの、「土木業はハード」というイメージが強く、業界に飛び込めずにいた。32歳にして転職を決意。想いを汲んで後押ししてくれたのは周藤社長だった。友塚さんが以前から取りたかった一級建設機械施工技師の資格。入社後すぐに会社の全額負担で学校に通うことができた。

土木の現場は確かにハードなところはあったが、各現場で幅広い知識と技術、そして応用力が問われるやりがいがあるフィールドだ。「まだまだわからないことだらけですが、今は勉強するのが楽しいんです」。先輩

や職人たちを見て学びながら、技術習得に励む日々。「仕事が形に残るのが嬉しいです。あ、ここ自分がやったとこだ、と前を通るたびに思います」。額に汗する友塚さんの笑顔には確かな充実感が感じられた。

友塚さんの趣味は、なんと日曜大工に日曜土木。現場で見た技術を自分で見よう見まねで実践してみる。先日は実家の裏庭の水はけの悪いところにコンクリートを敷いた。「ほんとと真似事なんです。照れながらも、嬉しそうに話してくれた。一つのことを突き詰めるのではなく、いろんなことにチャレンジしていき、オールラウンドな技術者になるのが目標だ。

実は入籍したての友塚さん。数年のうちに会社に頼んで新築のマイホームを建てよう計画中だ。「平凡かもしれませんが、今はそれが一番の夢ですね」、仕事の充実感と温かな家庭、形ある「幸せ」をこの手に抱いて、友塚さんは今日もヘルメット姿で現場へと向かう。



「いろんな現場でいろんなことをしてみたい」と語った友塚さん

とっておき！  
うんなん暮らし



お気に入りのお店で  
仕事終わりに一杯！

僕のオススメのお店は三刀屋にある焼肉屋の“笑ら炎”さんです。よく仕事終わりに、社長や先輩に連れて行ってもらっています。値段もリーズナブルで、お腹いっぱい食べられるので、自分は気に入っています。皆さんも是非一度行ってみてください。これから奥さんと一緒に、雲南市のお店やオススメスポットなどを開拓していこうと思っています。

## Q&A 一問一答

### Q 真砂土の販売事業って何ですか？



埋め立てや、敷土として利用できる砂を販売しています。山を削り土地を造成する際に出る副産物ですが、このあたりの砂は「木次真砂土」として松江や出雲では重宝される品質の良いものです。

### Q 他にどのような事業がありますか？



件数が多い仕事だと、今、島根県の東部地区の郵便局は全て弊社が関わっています。エレベーターや自動ドアのメンテナンスや、LAN回線の整備等を請け負っています。

### Q 休みの日は何をしていますか？



実家の田んぼの世話をしています。ちゃんと休みもとれるので、今、米作りは私为中心です。先日も天気の良いうちに稲刈りを終わらせました。新米を食べるのが楽しみです。

### Q 各現場の作業はどれくらいの期間なんですか？



現場によってバラバラです。最短だと1日で終わる現場もあれば、数ヶ月工事が続く現場もあります。場所が変わるので、いつも新鮮な気持ちで作業に臨めますよ。

こんな人と  
一緒に  
働きたい！

- ・ 建築や土木の分野で技術を身に付けたい人
- ・ UIターンで雲南市に移住したい人

社員の資格取得のための補助制度があります。働きながらの資格取得も可能です。市外からUIターンでくる方には入社支度金(引越費用等:最大20万円)もありますので、ぜひご検討ください。



Keyword

**自動車部品**

**働きやすい環境づくり**

**ものづくり**

Vision

自動車の部品メーカーが挑む  
働きやすく  
創造的なチームづくり



**ホースクランプ**

主に自動車の燃料や吸気関係のホースの締付けに使われる。



## 株式会社 協栄ファスナー工業

自動車の燃料やブレーキのパイプに使われる重要保安部品「ホースクランプ」メーカーとして国内屈指の実力を誇る協栄ファスナー工業。マツダの全車種に採用され、ホンダ、スズキ、三菱、日産にも取り入れられた技術力は確かなものだ。初代社長で、現会長の松本朗は柔軟な発想が飛び出すアイデアマン。建設現場の資材を使い旗を立てる「旗竿のキャップ」や、植樹の結束作業に使い、毎年1万個以上売り上げる人気の「添木結束クランプ」などで特許を次々に取得。技術力とひらめきが冴える雲南市のものづくり会社だ。

2017年8月から、息子の松本悠が二代目社長に就任。経営理念に「ホースクランプメーカーとして「ものづくり」を通じ、人を育み社会に貢献する」を掲げ、電気自動車化等で大きな変化が予想されるこれらに対応するため、「人」に重きを置いて、人材育成と働き方改革に着手。仕事に必要な資格は全額会社負担で、平日でも業務として受講が可能。(公財)しまね産業振興財団や業界団体が主催する研修も希望すれば受けることができる。

まずは働きやすい環境整備が欠かせない。残業はほぼなし。これまでの規則を見直し半日単位だった有給休暇を、1時間単位に変更。通院や各種手続きにも対応しやすくなった。社員との個人面談で、社員に寄り添った環境づくりを心がける。

「社員が主体的に取り組める環境をつくり、有機的に連携するチームになっていくのが理想ですね」。2018年度のいずも産業未来博※1では、社員主導でブース出展を企画。クランプや金属加工の技術を生かし、遊園地のようなブースで多くの子ども達でにぎわう出展となった。アイデアを出し合い、実現していくという風土が根付きつつある。

「会社内に地域のニーズや自分たちのしたいことをどんどん実現していく、ものづくりのチームができれば、めちゃくちゃ楽しいですよ」。地域の工場の困りごとにも対応し、部品の修理や、現場の改善点を盛り込んだカスタムパーツの製作もしている。こうした地道な努力が地域の信頼を獲得し、自分たちの技術が他業界にも普及する可能性につながる。

様々な機具の試作にも対応し、農業用資材、医療器具、建設機材、アウトドア用品など多彩なジャンルで持ち前の技術を生かしている。ホースクランプを軸に、5期連続の黒字を達成しつつも、二次創業に挑戦中の協栄ファスナー工業。若き松本悠社長は、ものづくりチームの新たなメンバーを求めている。



代表取締役 松本 悠

株式会社 協栄ファスナー工業



代表者 松本 悠  
創業 1996年8月  
社員数 36名

事業内容 ・自動車の燃料パイプや吸気関係などのゴムホース締付用金具部品(ホースクランプ)の製造販売  
・新製品の試作・開発

所在地 〒690-2701 島根県雲南市掛合町掛合2414番地

電話番号 0854-62-9700

http://kyoei-fi.co.jp/

※1……地域の企業・団体・学校を中心に県内外の様々な産業分野の技術や製品が一堂に会する年に一度の祭典

# 若手社員 インタビュー



**朝山 敏和**

2014年入社/  
雲南市出身・在住

**原 恵**

2016年入社/  
雲南市出身・在住

**稲村 淳子**

2016年入社/  
雲南市出身・在住

## 誰もが働きやすい環境がモチベーションを上げる

**朝山:**前の会社を辞め、40代後半での再就職活動は難しいものがありました。製造業で働いてきた経験を活かせるこちらに入社することができました。先輩からの指導を受けた後は、自分なりに計画を立てて右往左往しながらなんとか仕事を覚えていきましたね。月間の生産計画に基づいてスケジュールを組むわけですが、トラブルになった時が経験を問われますね。何が原因かを特定するのに、リーダーやサブリーダーの助言を得ながら対応しています。専門的な機械と向き合う仕事ですが、機械が好きならには持ってこいだと思います。大変なところもありますが、土日はもちろん正月、お盆、G.W.も休めるのはありがたいですね。オン・オフを切り替えて、気持ちよく仕事にのぞめます。

**原:**出産を機に仕事を辞めていましたが、再就職となると正社員での採用が少ない中、こちらの求人が出てすぐに応募しました。以前の勤め先では持ち帰りの仕事も多く、就業時間もバラバラでしたが、ここは仕事時間

がキッチリ決まっているのがいいです。有給休暇もちゃんととれますし、子どものことで早退したり、急に休みを取らないといけなくなったときにも休みやすい体制を作って頂いていたり、フォローに回ってくれてありがたいです。

私は検品の担当です。変形や傷がついた部品を見つける作業は、集中力が必要ですが、自分の性格に合っている仕事だと思います。

**稲村:**前職で事務を担当していて、こちらにも事務職で入ったのですが、出荷準備も担当するようになりました。毎日の納品で数を確認しながらテキパキと積み込んで行く必要があります。力仕事に不安はありましたが、少しずつ体力もついてきて体も健康的になりました。量をこなしていくため、ハンドリフトに加え、フォークリフトの運転資格も取得、扱えるようになりました。

8時20分～17時10分の就業時間で、残業もほとんどないので、子育てに助かっています。

とっておき!  
うなん暮らし



中国四川料理 ドンシユ

辛うまが食べたい方にオススメです。単品でもよし、コースでもよし。麻婆豆腐の辛さもお好みで注文できます。



掛合まめなセンター  
塩ヶ平温泉

黄金の湯!こじんまりしているけれど泉質がよく好きな温泉のひとつです。

## Q&A 一問一答

### Q 社長はオフは何をしていますか?



2012年にUターンしてきましたが、時間ができて色々なことにチャレンジしています。映画塾、ソフトバレー、幸雲南塾※2、空き家活用…。地域に出ているいろいろなことに挑戦しています!  
※2……幸雲南塾は、島根県雲南市で、地域の未来を切り拓いていく人材を育成する雲南市のプログラム

### Q どんな研修を受けましたか?



原:社会人としての基礎教養の研修もありますが、特に参考になったのが目視検査に特化した研修です。電気の明るさや、作業台の高さまで細かくアドバイスしてもらい、とても参考になりました。研修での刺激を仕事にもどんどん取り入れていきたいです。

### Q イチオシの商品はありますか?



主力のホースクランプはもちろんですが、漆木結束クランプは街路樹の整備等で幅広く使われています。清水建設さんと共同特許も取得し、東京五輪に向け動いています。また、試作中ですがアウトドア用のアイアンテーブルも面白いと思います。

### Q 掛合は雪は大丈夫ですか?



稲村:雪は多いですが、除雪対策がしっかりしているので、通勤に問題はありません。会社も国道沿いにあるので、安心して通うことができます。山の中のイメージはありますが、意外と交通の便がいいです。

こんな人と  
一緒に  
働きたい!

- ・ 新たな事業と一緒にチャレンジしてくれる人
- ・ 子育てしながら仕事も頑張りたい人

新たな分野へ事業の幅を広げる協栄ファスナー。社長の右腕、左腕となって、ものづくりの可能性を追求する人を募集中です。また、子育て中でも正社員で働ける環境が整っていますので、ぜひあなたの力を貸してください。



Keyword

自動車部品  
働き方改革  
ものづくり

Vision

年商13億、  
老舗部品メーカーの  
新たな挑戦



**加工技術**  
高い品質・技術で  
もっと良い物をもっと簡単に  
顧客満足度を求めて  
カイゼンし続けています

## 株式会社 山光

日本の経済を支えてきた「ものづくり」の象徴ともいえる自動車。世界と戦う日本の車を縁の下で支えてきた高品質なコントロールケーブル用の部品を製造してきた会社が雲南市にある。創業45年以上の歴史を持つ株式会社 山光だ。コントロールケーブルは、運転者が引く、押す、廻すなどの作用をアクセルやドアなどに伝える部品。精密性と耐久性を併せ持つ山光のケーブル用金属部品は世界的にも評価され海外、有名メーカーの車にも使用されている。2007年には年商13億を突破。雲南市にとっても貴重な世界規模の企業だ。

3代目社長の足立裕之さんは作業員として働き始め、品質管理や生産管理の現場で汗を流してきた。フットワークが軽く、気さくに話ができる若き社長だ。しかし、足立社長が見つめる業界の未来は厳しい。電気自動車化の流れは、アナログに動きを伝えるコントロールケーブル市場の大幅な縮小を意味していたからだ。このままでは今の会社規模が保てなくなるのは必至。それまで築き上げた確かな技術力を武器に新たなジャンルに乗り出した。金属加工技術は、様々な産業機器、建築部品、医療業界に応用できる。自分たちの強みを見つめ直し、技術を詳しく紹介するWEBサイトを作成。新規販路の開拓に力を入れ、東京ビッグサイトの展示会にも出展。老舗の技術メーカーが今、新たなチャレンジを始めている。

現場をみてきた足立社長は「働き方改革」にも着手。残業を減らし、休みがとりやすいように仕事の平準化を進める。専門的な技術は人の資質への依存度が高かったが、新設備の導入により特殊な作業を減らし、仕事をシェアできる環境を整えていった。「仕事と遊びを両立させろ」という初代社長の教えを実践していきたいと足立社長は語る。試しに年に一度のバーベキューを始めた。社員が無理なく参加できるように平日の業務時間内に設定。部署を越えた交流が実現した。「日々機械と向き合い仕事をしているので、メリハリをつける意味でも休むときはしっかり休んで、働きやすい職場にしていきたいですね」、福利厚生の実施は製品の品質にもつながる。若い人や女性も働きやすい環境整備に力をいれているところだ。

「日本や世界を走る自動車。多くの方の生活に密着し、人命に関わる重要な部品を45年間、山陰の山間部で製造し続けている会社がある、というのはワクワクしませんか」、ものづくりの誇りを胸に変化を続ける山光は、共に新たな歴史をつくる人材を求めている。



代表取締役 足立裕之

株式会社山光



代表者 足立裕之  
創業 昭和49年1月8日  
社員数 65名  
事業内容 コントロールケーブル用  
部品の製造  
所在地 〒699-1114  
島根県雲南市加茂町  
猪尾297  
電話番号 0854-49-6543  
<http://www.kk-sankoh.co.jp>

## 若手社員 インタビュー



鳥谷 理恵

2012年入社 /  
鳥取県出身、雲南市在住

### 子育て世代にも優しいものづくりの現場

家から近く、パートでも働けるということで山光で働き始めた鳥谷さん。製造業は初めてだったが、作業自体は簡単なものからスタートし、多少の体力はあるものの、自分が体を動かして物ができていく達成感を伴う仕事が気に入った。「もうちょっと長く働きたい」と会社に相談。会社も快くその要望を聞いてくれて、正社員となった。

工場は女性も多く働いており、休みや勤務時間の調整も効きやすい。土日が休みというのも子育て世代には嬉しい条件だ。近くに保育園もあり、雲南市は中学卒業まで医療費が無料。「すぐ近くで虫も見れます。自然も豊かで、子育てするには、いい環境ですよ。山光は社長も子煩悩なので(笑)いろいろと子育て世代へ配慮してもらっていると思います」、安心して子育てができる環境があるからこそ、仕事にも専念できる。オンオフがはっきりとつけられる仕事だからこそ、社員も生活の設計がしやすく、男女ともに働きやすい環境になっている。

「車を目にする、ついコントロールケーブルを見るようになってしまったんですね」と笑って話す鳥谷さん。自分が携わった部品が全国どこでも使われているのが嬉しく、やりがいになっているという。板についた作業服姿が格好いい。鳥谷さんもすっかり「ものづくり」の人だ。

仕事も融通が効くぶん、臨機応変に他部署へサポートに入ることもある。柔軟性と根気強さが求められる職場だ。働きやすさと高品質の両立を目指す山光。鳥谷さんはじめ、社員も一丸となって取り組んでいる。



社員同士の仲もよく、「ちょっと手伝って!」なんてこともよくあるそう。

とっておき!  
うんなん暮らし



奥出雲ワイナリー

美味しいレストランや近くにパン屋さんもあり、家族でお出かけするスポットです。



丸小山公園

ピクニックができる広場や遊具もいろいろあり家族で楽しめる公園です。

### Q&A 一問一答

#### Q 営業はどうしてるんですか?



営業は今、私一人です(笑) 今まで下請け中心で開発部門や営業部門がありませんでしたが、これから力を入れていきます。ぜひ一緒にやってくれる人に来てもらいたいですね。

#### Q 工場勤務だと夜勤のシフトもありますか?



一応、5交代でシフトを組めるようにしてありますが、夜勤のシフトは、ほぼ稼働していません。基本的に日中の勤務です。あとは社員の希望で調整しています。多くは8時20分~17時30分のシフトで、ちなみに鳥谷さんは10時10分~19時20分のシフトですね。

#### Q 女性で工場働くことに不安はありませんでしたか?



特になかったですね。力仕事がどうか、と思いましたが、できますよ。体力は必要ですが、体動かすので健康的ですね。女性の割合も多いので、男女どちらでも働きやすいと思います。

#### Q 足立社長ってどんな人ですか?



とても話やすく、いい人ですよ。愚痴を聞いてもらっちゃって(笑)社長さんになる前から知っているので仲良しなんです。意見も言いやすいです。全部を把握していて、フットワークが軽いので、相談しがいがあります。

こんな人と一緒に働きたい!

- ・ 元気な人
- ・ 企画力のある人

働く意志があればどんな方でも歓迎です。また、新たな事業の展開を考えているので企画力や行動力がある方はぜひ来ていただきたいです。うちの技術をどう生かし、独自製品を開発し、売り込んでいく。ワクワクする挑戦と一緒に取り組んでくれる人が来てくれたら嬉しいです。



Keyword

老人ホーム

理想の介護

アイデアが活きる

Vision

職員も利用者も  
「自分らしく」居られる  
ホームをつくる



多目的ホール

利用者さんが集まる憩いの場。食事を取ったり、お喋りをしたり行事やレクリエーションを行います。



住宅型有料老人ホーム

ウェルライフ三刀屋 

ウェルライフ三刀屋は2017年12月に開設された住宅型有料老人ホームだ。訪問介護事業所「ライフケアふれあい」、居宅介護支援事業所「こもれびケアプランニング」を併設し、地域に根ざし、安心して過ごせる施設を目指す。高見さんは立ち上げに際しソーシャルワーカーの経験を買われ、施設長に抜擢。理想の介護現場を目指し、施設の運営に日々奔走する。

かつて勤務していた長期療養者を対象にした療養施設で見た光景が忘れられないという高見さん。「入浴や食事の介助も最小限。人間らしさより、作業効率求められることに憤りを覚えました」。そこを辞め一時は別の職に就くが、専門学校や大学で福祉に夢をみて学んできた志が再燃し現場に舞い戻った。

高見さんが大切にするのは「コミュニケーション」と「自発性」。利用者さんが職員と安心してコミュニケーションできるよう個別に話す時間をたっぷりとっている。もちろん、職員同士のコミュニケーションも盛んだ。日頃の雑談や行動から一人ひとりの適性を見つけて配置する。高見さんは誰に対しても腰が低く、職員からツッコミを入れられることもしばしば。話しやすく風通しのよい雰囲気は垣間見える。

施設として季節ごとに行うレクリエーションは、職員たち

が自ら企画するものばかり。職員はどうやったら利用者さんに楽しんでもらえる企画ができるか、いつもアイデアが頭をめぐる。そんなことができるのも、日々の業務に「余白」の時間があるからこそ。職員も利用者も、効率ではなく「自分らしく」主体的にふるまえる場をつくっている。「大変ですけど、やりたいことにチャレンジするって、とっても楽しいですよ」高見さんの優しい笑顔が手応えを感じさせる。

「こうした地域に根ざす施設が近くにあることは、住民にとって大きなメリットです。在宅介護が続けにくい家庭では、気軽に会いにいける居宅介護を選択できます。市のバックアップも大きいですね。各種の相談や申請手続きにもサポートがしっかりしています。後方支援病院の雲南市立病院や平成記念病院とも本音で話ができるし、介護が必要な利用者さんの情報も共有することで、適切な対応を図ることができています」。

今後も一層高齢化が進むであろうこの地域にとって、ウェルライフ三刀屋が果たす役割に大いに期待したい。



施設長 高見康之

ウェルライフ三刀屋  
(株式会社ヒカリエ)



施設長 高見康之  
設立 平成29年12月  
従業員数 22名

事業内容 ・食事、入浴、排せつ等の  
介助・買い物など、利用者  
の介護

所在地 〒690-2403  
雲南市三刀屋町下熊谷  
1675-2

電話番号 0854-45-5406

## 若手社員 インタビュー



介護士  
河口 彩

2017年入社/  
出雲市出身、雲南市在住

### 細やかな気遣いと小さな行動力が楽しい居場所をつくる

「子どもの頃からの夢が叶いました」という河口さん。小学生の頃に老人ホームを訪れた時のおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が心に残っていた。いつかは介護の現場に、という想いを抱きながら飲食業で働いていた。ある日、三刀屋にウェルライフが開設されるや、すぐに入社した。「資格がない状態が入ったので思っていた介護ができず、施設長に相談して、資格取得の後押しをしてもらいました」。就職後すぐに介護職員初任者研修を受けることができた。続いて介護福祉士実務者研修も受け、確実に介護の専門家としての道を歩み始めている。

「夏は職員で竹を切り出してきて、そうめん流しをやったんですよ」、レクリエーションでは先陣を切ってアイデアを出す河口さん。時には失敗もあるが、そうめん流しは利用者さんの笑顔もあふれ、にぎやかなイベントになったという。茶道の先生だったという利用者さんの話を聞き、お茶席を設ける企画も実施。施設の周りでグリーンカーテンも育てたアイデアが好評を得たので、次は野菜づくりができないか考え中だ。利用者さんとも

企画の話で盛り上がる。そんな前向きに頑張る河口さんの姿をみて、高見施設長は主任の役を任せました。失敗を恐れず、自ら動き、この施設をより良くしていこうという姿勢は他の職員にもいい刺激を与えている。

「これからも利用者さんたちが、それぞれのペースでのんびりとしていられる空間をつくっていきたいですね」。一人一人の利用者さんに寄り添い、個性やその日の体調をみながら、その人のペースに合わせて食事や入浴をサポートし、老人ホームでも自分らしくあってほしい。そんな河口さんの想いが、ウェルライフの文化として根付いていっている。



日々の仕事の中から色んなアイデアを膨らませる河口さん。

#### とっておき！ うんなん暮らし



#### 滝あそび

夏には龍頭が滝に行き、子どもは水遊び、大人はマイナスに癒されます。



#### いちご狩り

3月4月には木次からすぐの所でいちご狩りもでき、ファミリーで楽しめます。

## Q&A 一問一答



### 介護分野に進出された理由は？



介護はこれからの時代、絶対に必要とされます。ここで利用者さんや地域のニーズに合ったモデルを作れば、成長が期待できる業界です。2017年12月にスタートしたばかりですが、これからの地域の介護福祉を担えるよう頑張っていきたいです。



### 他にはどんなレクリエーションを企画中ですか？



雲南市は桜が綺麗なので春のお花見、秋には紅葉狩りも企画中です。利用者さんが主体でできる、昔ながらの料理をつくるイベントもできたらいいと話しています。そうしたら職員は食べる側ですね(笑)



### 施設長って大変なお仕事じゃないですか？



介護の世界で管理職に行きたいというのは少数かもしれませんが、私は当初から施設の運営に関わりたかったんです。各種調整や運営で大変なところはありますが、理想の施設づくりにむけて、モチベーションマックスでチャレンジ中です！



### 日々の仕事はどんなことをされているのでしょうか？



毎日、利用者さんが入られている各部屋に行き、だいたい30分ずつおしゃべりしながら健康状態をチェックします。他には食事やお風呂の介助ですね。ご飯はそれぞれのペースで食べられます。イベントがなければ、利用者さんは思い思いにゆったり過ごすので一緒に話をしながら見守っています。

こんな人と一緒に働きたい！

- ・一緒に学び合える人
- ・人に寄り添える人

介護分野で働く意志があれば、スキルは問いません。一緒に学び合い、共に成長していけたら嬉しいです。また自分のことだけでなく、利用者さんに寄り添いながら、のんびりと居心地のよい場作りを一緒にしていただける方を募集しています。